

40周年記念誌



RYONAN
ORANGE
神奈川・綾瀬



もくじ

綾南オレンジサッカー団	1 ～ 7
あいさつ	
40周年記念実行委員会 委員長 高野 謙一.....	8
綾南オレンジサッカー団 監督 人見 和人.....	9
綾南オレンジサッカー団 コーチ 神谷 勲.....	10
綾南オレンジサッカー団 コーチ 朝熊 和正.....	10
綾南オレンジサッカー団 アシスト代表幹事 三好 信也.....	11
綾南オレンジサッカー団 コーチ 渡井 隆.....	11
綾南少年サッカー団 初代監督 熊倉 俊夫.....	12
綾南少年サッカー団 第4代監督 朽木 正美	12
30周年記念実行委員会 委員長 山口 公.....	13
佐藤コーチ メモリアル	14
お祝いの言葉	16 ～ 25
卒団生の言葉	26 ～ 34
綾南オレンジサッカー団の40年.....	36 ～ 64
現役団員（第40期～45期）.....	65 ～ 68
協賛協力会社広告	69 ～ 74
編集後記.....	75

綾南オレンジサッカー団



当 団 の 目 標

- ① 健康で体力のある人間
- ② 思いやりのある人間
- ③ 協力することのできる人間
- ④ 積極性のある人間

歴代卒団生

第 1 期 (S49年度)	26名
第 2 期 (S50年度)	14名
第 3 期 (S51年度)	13名
第 4 期 (S52年度)	13名
第 5 期 (S53年度)	13名
第 6 期 (S54年度)	19名
第 7 期 (S55年度)	8名
第 8 期 (S56年度)	17名
第 9 期 (S57年度)	19名
第10期 (S58年度)	17名
第11期 (S59年度)	21名
第12期 (S60年度)	26名
第13期 (S61年度)	24名
第14期 (S62年度)	26名
第15期 (S63年度)	17名
第16期 (H1年度)	24名
第17期 (H2年度)	21名
第18期 (H3年度)	17名
第19期 (H4年度)	22名
第20期 (H5年度)	16名

第21期 (H 6年度)	7名
第22期 (H 7年度)	27名
第23期 (H 8年度)	12名
第24期 (H9年度)	11名
第25期 (H10年度)	6名
第26期 (H11年度)	16名
第27期 (H12年度)	12名
第28期 (H13年度)	13名
第29期 (H14年度)	18名
第30期 (H15年度)	12名
第31期 (H16年度)	9名
第32期 (H17年度)	11名
第33期 (H18年度)	11名
第34期 (H19年度)	12名
第35期 (H20年度)	3名
第36期 (H21年度)	11名
第37期 (H22年度)	5名
第38期 (H23年度)	14名
第39期 (H24年度)	8名
第40期 (H25年度)	11名

女子

第 1 期 (H4年度)	6名
第 2 期 (H5年度)	13名
第 3 期 (H6年度)	1名
第 4 期 (H7年度)	10名
第 5 期 (H8年度)	6名
第 6 期 (H9年度)	5名
第 7 期 (H10年度)	8名

計	651名
---	------

■歴代指導者

熊倉 俊夫	初代監督	(1974.4 ～ 75.3)
岡村 博美	第 2 代監督	(1975.4 ～ 76.3)
山口 俊一	第 3 代監督	(1976.4 ～ 85.3)
朽木 正美	第 4 代監督	(1985.4 ～ 86.3)
人見 和人	第 5 代監督	(1986.4 ～現在)

■綾南オレンジ コーチングスタッフ

神谷 勲	第 8 期
三好 信也	第 14 期
朝熊 和正	第 16 期
渡井 隆	第 17 期卒団生
篠辺 優年	第 19 期
小笠原 正慶	第 21 期
阿部 信介	第 22 期
金野 親司	第 22 期
重藤 保	第 22 期
伊藤 正実	第 25 期
遠藤 薫	第 27 期
平尾 聡	第 29 期
飯田 利彦	第 32 期
高野 謙一	第 34 期
森川 恭司	第 34 期 (第 2 期卒団生)
吉川 俊一	第 35 期、第 39 期
栗田 泰男	第 39 期 (第 12 期卒団生)

決勝の顔ぶれ決まる

第32回県少年サッカー

マリノス・日本マクドナ



高学年はバディーSCC

(横浜) SC バデュー
 (PK 4 ↓)
 0
 0 0
 0 0
 0
 (横浜) F・マリ
 ノス新工
 (横浜) ノス追
 0
 0 0
 0 0
 0

(薬野)

△雄決勝

綾南オレ
ンジ
SC

6
4 2 1
0 0 0
0

C

南が丘
レ
ベルマ

0
0 0 0
0

相模原

コラン

小ざな司令音が躍動

○…Jリーグのジュニアチームを次々と打ち破った

[illegible]

綾瀬からJリーガー誕生

上土棚南出身の飯田涼さん



岡山に入団した飯田さん

飯田さんは土棚小学校時代に友人に誘われて地元の少年サッカーチーム「綾南オレンジサッカー団」(人見和人監督)でサッカーを始め、横浜マリノスジュニアユースM、成立学園高校を経て、念願のプロ入りを果たした。

ポジションはMF。多彩なパスと、身長164cm、体重54kgの小柄な体型ながら局面を突破するドリブルが持ち味。抜群のサッカーセンスがスカウトの目にとまった。フアジアーノ岡山への入団に「今まで支えて下さった方々のおかげでプロ選手になることができ感謝の気持ちでいっぱいです。これからも常に感謝を忘れずにプレーしていきたい」と話している。

綾瀬市上土棚南出身の飯田涼さん(18)がプロサッカー2つの「フアジアーノ岡山」に入団した。飯田さんは市内の少年サッカーチーム「綾南オレンジサッカー団」でサッカーを始めた。幼い頃から夢だったプロ入団に「支えてくれた人への感謝を忘れずに頑張りたい」と話している。

抜群の運動神経と負けん気の強さですぐに才能を開花させ、対戦すれば他チームからは「あの7番」と言われるような目立つ選手だった。小学生時代は22人が選ばれる県の選抜選手として関東大会にも出場。高校ではサッカーの名門成立学園高校で1年生ながらAチームに入り、第一線でチームに貢献していた。

綾瀬からエール

飯田さんの一番のサポート1であり、理解者でもある父・利彦さんはプロ入りについて涼さんから相談を受けた時「お前の人生だから、好きなように決めなさい」と背中を押したという。高校進学後は挫折も経験し、衰辱らして1人頑張っていた涼さんをそっと支え続けていた。

また、飯田さんの恩師で27年間「綾南オレンジ」の指導をしている人見和人監督は「子どもの頃からボールタッチや身のこなしなど、素晴らしいセンスを持っていた」と話す。フィジカル面も強く、飯田さんが所属していた頃は「ケガによるエース欠場」のような悩みは殆ど無かったという。「スター性のある子だった分、1人じゃサッカーはできないことをよく教えていた」と人見監督。当時はボールをキープし続けるプレーが目立っていたが、今回はパス技術も評価されての入団。「岡山では先輩やチームメイトに可愛がってもらって、自分の強さを出してほしい」とエールを送った。

フアジアーノ岡山の印象を「歳の近い選手も多く元気なチーム。学ぶことが多い」と話す飯田さん。開幕にあたり「試合に出れるよう頑張ります。応援よろしくお願いします」と抱負を語っている。岡山は3月4日(日)開幕戦で、kanakoスタジアム(岡山市)でカターレ富山と対戦する。



■少年委員会大会記録（1994 年～ 2013 年）

年 度	市内 6 年リーグ戦	6 年お別れ大会	県関係・県央大会・キリンカップ
平成 6 年 1994	早園 FC	綾南オレンジ	・キリンカップ低学年の部 準優勝：早園 FC
平成 7 年 1995	綾南オレンジ	綾南オレンジ	
平成 8 年 1996	綾南オレンジ	落合サッカークラブ	・キリンカップ中学年の部 準優勝：早園 FC
			・キリンカップ低学年の部 準優勝：早園 FC
平成 9 年 1997	落合サッカークラブ	落合サッカークラブ	
平成 10 年 1998	綾南オレンジ	落合サッカークラブ	・全日本少年サッカー大会 神奈川県予選第 3 位：早園 FC ・郡市対抗少年サッカー大会 優 勝：早園 FC
平成 11 年 1999	綾南オレンジ	北の台サッカー団	・神奈川県選抜少年サッカー大会 第 3 位：綾瀬選抜
平成 12 年 2000	早園 FC	中止	・郡市対抗少年サッカー大会 第 3 位：早園 FC
平成 13 年 2001	綾南オレンジ	フェニックス FC	・キリンカップ高学年の部 第 3 位：綾南オレンジ
平成 14 年 2002	綾南オレンジ	綾南オレンジ	・キリンカップ高学年の部 第 3 位：綾南オレンジ ・キリンカップ低学年の部 準優勝：綾瀬 SS ・県央少年サッカー 3 年生大会 優勝：綾南オレンジ
平成 15 年 2003	早園 FC	綾南オレンジ	・神奈川県少年サッカー選手権 低学年の部第 3 位：綾南オレンジ ・県央少年サッカー 4 年生大会 準優勝：早園 FC ・県央少年サッカー 3 年生大会 3 位：綾瀬 SS
平成 16 年 2004	綾南オレンジ	綾南オレンジ	・県央少年サッカー 5 年生大会 優勝：綾南オレンジ
平成 17 年 2005	綾南オレンジ	綾南オレンジ	・キリンカップ高学年の部 3 位：綾南オレンジ ・県央少年サッカー 6 年生大会 3 位：綾南オレンジ ・神奈川県少年サッカー選手権 準優勝：綾南オレンジ

年 度	市内 6 年リーグ戦	6 年お別れ大会	県関係・県央大会・キリンカップ
平成 18 年 2006	北の台サッカー団	綾瀬 SS	
平成 19 年 2007	綾南オレンジ	北の台サッカー団	・ 県央少年サッカー選抜大会 準優勝：綾瀬選抜
平成 20 年 2008	北の台サッカー団	北の台サッカー団	・ 県央少年サッカー選抜大会 3 位：綾瀬選抜
			・ 県央少年サッカー 6 年生大会 準優勝：北の台サッカー団
平成 21 年 2009	綾南オレンジ	綾南オレンジ	
平成 22 年 2010	北の台サッカー団	北の台サッカー団	
平成 23 年 2011	北の台サッカー団	北の台サッカー団	・ 県央少年サッカー選抜大会 優勝：綾瀬選抜
平成 24 年 2012	北の台サッカー団	北の台サッカー団	・ 県央少年サッカー 5 年生大会 3 位：綾瀬 FC ジェッツ
平成 25 年 2013	綾瀬 FC ジェッツ	綾南オレンジ	・ 県央少年サッカー 3 年生大会 準優勝：綾瀬 SS ・ 県央少年サッカー 2 年生大会 準優勝：綾瀬 SS





あいさつ



創立 40 周年を迎えて

40 周年記念実行委員会委員長（第 34 期会長） 高野 謙一



綾南オレンジサッカー団は、お陰さまで創立 40 周年を迎え、今日もグラウンドでは元気いっぱい子供達がボールを追いかけ回しています。

こうして 40 年間、子供達がサッカーを通し仲間達と目標に向かって切磋琢磨できるのは、歴代監督をはじめ諸先輩方につくりあげて頂いたものを、その時々監督・指導者・父母が変わらぬ思いで受け継いできているからだと思っております。

練習で使用させていただいている綾南小学校や地域の皆様のご理解ご協力、日頃より親しく交流させて頂いている市内外のチームの皆様のお陰で今日の綾南オレンジサッカー団が成り立っております。皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻ご交流の程、宜しくお願い申し上げます。

この 10 年を振り返りますと、綾瀬スポーツ公園（旧本蓼川グラウンド）の整備により、人工芝の素晴らしいグラウンドで天候に左右されず一年を通し良い環境でプレーできるようになりました。チームの戦績では第 32 期生（現 20 歳）が「神奈川県選手権大会 高学年の部」において準優勝、「神奈川県選手権大会 低学年の部」において第 3 位になるなど輝かしい成績をおさめました。また卒団生達は、全国高校サッカー選手権大会へ出場したり、待望のプロ選手が誕生したりするなど、卒団後も様々なカテゴリーで活躍しています。ここ数年は大会等の運営補助や会場設営の面で、保護者が子供達以上にチームワークを発揮し、巷では「運営の綾南」「親は毎年中央大会進出」と云われているとかいないとか……。悲しい出来事もありました。長年にわたりトップコーチとして御指導いただいた佐藤令次郎コーチが平成 23 年 5 月 20 日に御逝去されたことです。全身全霊を綾南オレンジに捧げ、子供達ばかりか父母へも温かいお心遣いを頂き、時に優しく時には厳しく何事にも情熱をもって必死に取り組む姿勢は頼れる親父のようなコーチでした。佐藤コーチの熱い魂は、これからも私たちの心に永遠に生きていくことでしょう。

これからも子供達のサッカーを通して色々なことがあると思いますが、綾南オレンジサッカー団に携わる全ての皆様と共に、人見監督のもとますます結束を固め団の発展のために進んでゆく事を切望しております。

最後になりましたが、40 周年記念事業に際し、ご理解ご協力頂いた皆様方に厚く御礼申し上げますと共に今後も更なる、ご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

ブラボー! 40周年・・・この10年をふり返って

綾南オレンジ代表・監督 人見 和人



熊倉先生が、綾南少年サッカー団を立ち上げられ、早40年の歳月が流れました。私自身が関わったのは13期生からですが、それでも29年目に突入。人生の約半分を綾南の子どもたちと共に歩んできたことになります。家族の次に長い付き合いとなりました。

ここ20年ほどは、Jの下部組織やスポーツクラブのチームが少年サッカー界を席卷し、選択肢が増えたこともあって、サッカー少年たちを取り巻く環境が大きく変化してきました。

また、少子化や価値観の多様化等々で、県内各地を見渡しても昔ながらの学区単位の少年団の存在自体が危ぶまれてきている現状があります。そんな中で綾南オレンジが、保護者をはじめいろいろな形で関わってくださるみなさんの多大なご尽力やサポート、そして長きにわたり交流してくださっている多くのチームのみなさんのおかげで、細々とではあるものの40年という節目を無事に迎えられたことはこの上ない喜びです。

30周年がつい先日のように感じますが、この10年間だけをふり返ってもいろいろなことが思い浮かびます。戦績でいえば、32期生の『神奈川県少年サッカー選手権低学年の部第3位、高学年の部準優勝』という久々の快挙。彼らの中には卒団後Jリーグに進んだ者もいますし、正月の高校選手権の神奈川県代表座間高サッカー部のレギュラーとして三ツ沢と等々力のピッチで活躍した者もいます。Jリーグに入ることや高校選手権に出ること自体は決して綾南オレンジの目標ではありませんが、卒団生がそれぞれの道で必死に頑張っている様子が聞こえてくることは何にも増して嬉しいものです。

悲しいこともありました。30年以上の間、神谷コーチと共に綾南の両輪として子どもたちや保護者、そして人見を支えてくださった名コーチ佐藤令次郎コーチのご逝去。お亡くなりになるひと月前、私ごときの昇進祝いに到底自力では歩けない体を奥さまに支えられながら顔を出して下さいました。

律義で情に厚く、一度言い出したら聞かない(奥さまはどれだけお引き留めになったことでしょう)佐藤コーチの生き様が凝縮した最後にお会いした場面でした。握手した手が、力なくか細かったこと・・・今、思い出しても涙が出ます。

嬉しいこともありました。オレンジ史上初の親子二代にわたる保護者会長の誕生。教え子が保護者会長になる時代になりました。しょっちゅう怒っていた子どもが立派(かどうかは?)に親をやっている姿、会長として立ち振る舞う姿を見ていると、天に召されたお父さまにぜひお見せしたかったと、思って止みません。教え子2世、教え子兄弟姉妹2世たちが入団し、若気の至りで血気盛んだった頃の私を直接知っている保護者が増えてきたことも、複雑ながら嬉しいことの一つなのかもしれません。

末筆になりますが、みなさまにはこれまで同様のご指導ご鞭撻ご交流をいただき、『サッカーを通して、人としてしっかり育てる』『保護者と指導者手作りの地域に根差した団』という綾南オレンジの原点を忘れることなく、とりあえずは次の節目50年に向かい新たな一歩を踏み出す所存です。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

いつまでも蹴り続ける理由（わけ）

コーチ 神谷 勲



綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。これまでに多くの皆様のご協力があったからと感謝しております。ただこの日が来る喜びを一番楽しみにしていたであろう佐藤令次郎コーチがお亡くなりになり、いろいろ相談にのって頂くことができなくなったことは、ただただ残念の一言です。私が表題にも掲げた「いつまでも蹴り続ける理由（わけ）」を三つほど述べたいと思います。まず一つ目は多くの監督に出会いお世話になってきましたが、現人見監督に出会えたことは私にとって最も大きな喜びです。私如きの頭脳では何一つ理解できませんが、そのうち何か一つぐらいは学びとることができるかもしれないと思ってお世話になり続けております。

二つ目は、数多くの子供たちを送り出しましたが、子供たちというのは日一日と成長し、パワーとエネルギーは素晴らしいものがあります。彼らの目の輝きは何者にも変えがたく、そのエネルギーを全身に受け、振り返ることなく前に前にの気持ちにさせられているからです。

三つ目は、多くのゲームでコーチの真似事をさせてもらっていますが、いつも同じ指示の繰り返しで『ミスを怖れず思い切って向かっていく』という約束・・・この約束をなかなか達成できずにいるので蹴り続けています。30 周年記念誌に若い指導者が戻ってきてくれるのを待つと書かせてもらいました。この場で再度熱く熱くのめり込める人が現れることを熱望します。最後になりましたが、綾南オレンジに関わってくださった全ての皆様方に感謝と、次なる目標の 50 周年に向けてのお力添えがいただけますようお願い申し上げます。

最後まであきらめない気持ちで！！

コーチ 朝熊 和正



綾南オレンジサッカー団、創立 40 周年おめでとうございます。

この輝かしい節目の年にオレンジに関わっていただけることを感謝し、慶びを分かち合いたいと思います。

私がコーチとしてお手伝いをさせて頂いたのは、息子二人がオレンジを卒団するまで、皆様に大変お世話になったことに対するお礼の気持ちからです。

オレンジを通じて数多くの人達と交流ができ本当に感謝しています。子供たちの試合を見て思うことは、「勝っても負けても最後まであきらめない気持ちでプレーして欲しい」と、「相手・仲間を思いやる気持ち」と周囲の人達に支えられ「サッカーができることへの感謝の気持ちを忘れないこと」が大切です。

少子化により団員数が減少していますが、卒団生の子供たちが入団していることは今後もオレンジは永遠に引き継がれていくことだと確信しています。

綾南オレンジサッカー団の益々の発展の為に、今後も精一杯頑張っていきたいと思いますので、皆様のご支援・ご協力を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

創団 40 周年に思う

綾南オレンジサッカー団 アシスト代表幹事 三好 信也



日頃関係者の皆様方から、並々ならぬご支援とご協力を賜わり、ここに創団 40 年という輝かしい日を迎えられたことを、関係者の一人として心より感謝申し上げますと共に、喜びに堪えません。私の様な者が、記念すべき今日まで 20 数余年、アシスト代表幹事として、各試合のコーチの手配等を行っている「手配師」のお手伝いをさせて頂き、至極光栄に思っております。思い返してみますと、月日の経つものは早いもので、私と綾南オレンジサッカー団との関わりは、1986 年に私の息子が 4 年生で入団し、第 14 期生として卒団するまで関係者の皆様大変お世話になりました。

私は子供達に次の事を学んで欲しいと思っています。サッカーはチームスポーツであり、それには「和」の精神、そして連携プレーが必要であり、個々の能力には違いがあり、それを補ってチームとして完成させるスポーツだと考えています。

市内各サッカー団の皆様方、及び県内関係サッカー団皆様方には、今後共綾南オレンジサッカー団を宜しくお願い致します。



コーチ 渡井 隆



綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。私は、17 期生として卒団をして、その後コーチとして今もオレンジに係わらせてもらっています。綾南オレンジが 40 年もの長い年月多くの人に愛され応援され続ける理由を私は『一生懸命さ』だと感じています。選手たちが勝利に向かい一生懸命プレーするのは勿論の事、そんな選手たちを支える親、監督、コーチ、OB 等の多くの大人たちもまた一生懸命です。これが綾南オレンジの愛され応援され続ける理由なのだと思います。だから私は、OB としてコーチとしてチームに係わり続ける以上選手たちには『一生懸命』プレーする事、そしてそれをいつでも支えてくれている多くの人がある事に感謝する事を伝え続けていきたいと思っています。これからも綾南オレンジが 50 年、60 年…100 年!? と長く多くの人に応援され愛され続けるチームであるために。

創立 40 周年のお祝いに寄せて

綾南少年サッカー団 初代監督 熊倉 俊夫



綾南オレンジ創立 40 周年を迎え、誠におめでとうございます。

私は、気にはしていたのですが、学校の仕事が忙しく、活動・存続すら忘れていました。当時の教え子から聞かされたときは驚きでした。始めた頃のことをお話しますと、綾南分校が独立し綾南小学校となり、「子供たちとなにか出来ないか」と考え、野球より運動量があり、どの子も試合に出られ活躍できること、また、友人に古河電工(現ジェフ市原)FW の菊池選手に相談や助言をもらい、後押しされたことなどもあって、まずは始めてみようとして学級・学年を母体としてスタートしてみました。将来的には、少年団形式か、あるいは組織的な地域活動に持っていこうという構想は持っていました。

ユニフォームについても、私がデザインをしました。当時、あまり使われていない色合いで、目立つこと・強く見えることを考え、オレンジと黒を基調として、ヤナギヤスポーツの店主に損得抜きで無理を言ってやすく作ってもらいました。意外と出来具合は良かったので、子供たちも気に入ってくれました。3年から5年である程度強くし、次の段階にと思っていたのですが、そんな折に家庭の事情で東京へ転勤せざるをえなくなりました。心残りでしたが、岡村先生にお願いして後を託しました。

これからも、50 周年、60 周年と続いていくと思いますが、監督はじめ指導して下さるコーチの皆様、地域の関係各位の皆様、保護者の方々のご苦勞とご努力に御礼と感謝を申し上げますと共に、今後のますますの発展・隆盛を祈っております。

「小さな夢」

綾南少年サッカー団 第 4 代監督 朽木 正美



「小学校の先生になって子供たちと一緒に大好きなサッカーをする」これが私の 35 年前の夢でした。

綾南は私の夢が叶った特別な場所として、忘れられない場所となりました。綾南での 5 年間、毎日暗くなるまでの練習、県内の様々な場所への遠征、山中湖での合宿、勝利に歓喜し敗戦に落胆しました。そしてまた更なる子供たちの成長を目指すという充実した毎日を過ごさせていただきました。思い出に残る試合や出来事はたくさんありますが、保護者の方々にお世話になったことがとても心に残っています。車での送り迎え、お弁当、時には夕飯をごちそうになったり、お風呂に入れてもらったりと一人暮らしの身には大変ありがたかったです。飲み会、カラオケ、麻雀などで次の日が辛くなることもありましたが 20 代の若造を温かく見守り、育ててくださったことに感謝の気持ちで一杯です。

私の小さな夢が 35 年後には大きな感謝に変わったように、綾南サッカーに関わったすべての人々の夢が叶い、貴重なものになっているのではないかと思います。綾南サッカー 40 周年おめでとうございます。

頑張れ!! 綾南オレンジ

30周年記念実行委員長 山口 公



綾南オレンジサッカー団、創立40周年おめでとうございます、心よりお祝い申し上げます。

今回のお話を伺い、30周年事業に携わった者としてはこの10年長いような、短いような複雑な心境でした。綾南オレンジサッカー団と接する機会が少なくなった分長く、オレンジ色のユニフォームを見ると動向が気になるところが短く感じられたからです。

この10年、社会的には東日本大震災で多くの方が被災されたことやサッカーでの男女の日本チームの活躍がありました。内では長年熱血コーチとしてご指導された佐藤さんが逝去された事など、いろいろな出来事がありました。

変わらないのは、人見監督の綾南オレンジサッカー団への熱意と愛情です。「挨拶、礼儀、努力の尊さ、感謝の気持ち等々」の指導です、改めて敬意申し上げます。又、人見監督を支えたコーチ陣、OBの方々の尽力にも敬意を申し上げます。ご家族のご理解、ご協力も感謝申し上げたいと思います。

これからは、多くの卒団生がコーチに、団運営に携わり人見監督のご指導のもと「綾南オレンジここにあり」と名を馳せて頂き、ますます発展されることを祈念いたします。

最後となりましたが、関係する皆様の尚一層のご支援とご協力を感謝するとともに今後も宜しくお願い申し上げます。





佐藤 コーチ い・が・と・い

平成23年5月20日寂



拝啓

十月に今年冬の移る寒さが読ま
ます。其の後もお元気をお望みの
と存じます。

拙いお礼も少し遅く、再三の検査
の結果、腹水の増大が認められ、その
結果、腹水を調べる為「腹腔鏡」検査と
実施する運びとなりました。

就きましては短期入院とす、ため
皆縁とお合す。検査が少なくて済むと思
います。お礼も少し遅く、再三の検査
の結果、腹水を調べる為「腹腔鏡」検査と
実施する運びとなりました。

この年も年末にかけ何かとお忙し
と思いますが、お礼も少し遅く、再三の検査
の結果、腹水を調べる為「腹腔鏡」検査と
実施する運びとなりました。

十月三十日

人見 様

佐藤 幸平

敬告

第十五回県少年サッカークロ選手権最終日は快晴の十二日、横浜スタジアムで、県立低学年の決勝と三位決定戦を行い、高学年は綾南オレンジ（綾部）1対面（この人）に人見和人監督紹介、低学年は日産FCプライマリ（横浜）がそれぞれ優勝した。閉会式では綾南オレンジ、日産FCプライマリに県サッカー協会の斎藤又夫会長から賞状、県会長と優勝盾が授与されたが、神奈川県サッカー連盟旗、日産カップが贈られた。4位までのチームには賞状、盾、記念品が手渡された。

綾瀬

前半で勝負決める

「高学年」
▽決勝
綾瀬(シ)
4 130-1 中里サツ
カネ
▽協賛者「綾」仁田(補)畑中
畑中? (なし) なし 沼田(大橋)
「中」真野(なし)
「群」綾瀬オレンジが持ち味を十分に出し快勝した。

田がゴール左に決めて先制。15分に畑中、16分には沼田が決めてリードを広げ、試合はほぼ決まった。
全員がよく走り、相手の守備をくすしていった綾瀬のサツカーは優勝チームにあきわしかった。

一方、中盤サポールは前半動きが速く、中盤後半ボールを奪つてなかなか決定的チャートを作れなかった。後半2分に、キヤプテンの真野がミドルシュートで一点を決めたのにちやまつた。

▽3位決定戦
上野FC
立井学院 3-2-3
3
(橋本)

▽優勝者「立」水沢(2)、補一平松(な)
二「飯島」(な)、「上」大山(土)
谷、原谷(徳富)、土居(な)



【高学年・緩南オンジー中里サッカー】
シュート！ ゴール前での迫力ある攻防

県少年サッカー選手権は、土曜、一カ月及びふ熟戦の幕を閉じた。参加した六百十八チーム（高学年三百六十六チーム）の頂点に立つてゐる。そして再び高学年で優勝。

日産FCプライマリーがそれぞれ立った。四年生で一度頂点に立つていたはずだ。

綾南オレンジは二年前に同じメンバーで低学年二百六十六チームの頂点に立つてゐた。そして再び高学年で優勝。

ったという。それを脱したのはイレブンのサッカーに対する情熱だった。田辺主将を中心にこのままではいけない、と再び熱心に練習に取り組みはじめた。

短いパスで
守備を崩す

綾南オレンジ

車

と選手たちは安心してしま
い、なかなか実力があるま
いで伸びて行かないという
ころには中だるみ状態に陥
り、試合でも練習でもあま
り元気がなかった時期があ
った。(副部 仲原記者)



喜びをかみしめ優勝旗を
受け取る榎南オレンジ・
畑中竜太選手

やったぞ
初王座



お祝いの言葉



祝 綾南オレンジサッカー団創立 40 周年によせて

一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年部会

部会長 橋上 伸介



綾南オレンジの創立 40 周年、誠におめでとうございます。

一言で 40 周年と言いますが、一期生は、50 歳代を迎え社会の中で活躍をしている世代であることを考えますと、40 年の永きにわたり続けられてきたことは、素晴らしいことだと思います。

これまでには、綾南オレンジの創立から指導にあたられてきた、人見先生を始め、山口先生、佐藤さん、三好さんの多くの指導者をはじめ、創立の時期を後援されました保護者の方々が、サッカーを通して多くの子どもたちが心豊かにたくましく成長することを願い、様々な苦難を乗り越えられ、その思いをつなぎ、育て、広め、40 周年の大きな節目を迎えられましたことにあらためて敬意を表す次第です。

チームを卒業されました多くの選手、保護者をはじめ多くのサポーターも忘れかけたさまざまな思い出が甦り、生きていた証、がんばってきた証として自信につながることをと思います。

最後になりますが、創立から今日まで培われましたことを大きなステップ、大きなエネルギー源とされ、一層の団結力が生まれることを信じています。そして将来への夢、目標へと挑戦され、さらなる飛躍を期待し、綾南オレンジサッカー団が次代を担う子どもたちの健やかな成長に向け、ますますの発展とサポーターの皆様のご活躍を祈念してお祝いの言葉とします。

40 周年の積み重ねに心からの敬意を

綾瀬市サッカー協会 会長 安藤 多恵子



伝統と栄光の名門チーム『綾南オレンジサッカー団』のみなさま、40 周年誠におめでとうございます。綾南オレンジといえば常勝軍団。子どもたちの活躍もさることながら、指導者、保護者のみなさまの固い団結力でも、つとに知られております。

世はちょうど W 杯ブラジル大会の開催に向けサッカー熱は大いに盛り上がり、海外での日本人選手の活躍も相まって、いっそうサッカーへの理解や関心が高まっています。一瞬にして切り替わる攻守・華麗にして力強いフォーメーション・監督の采配・戦術・選手にみなぎるファイティングスピリット・会場の大興奮・・・何もかも素晴らしいサッカーというスポーツに長年魅了されておりますが、そうした素晴らしさの最も基本となるべき子どもたちの練習、ご指導というものがいかに大切かということを改めてかみしめています。

長きにわたるご指導の中心である人見先生のおかげで、子どもたちには「還る場所」があります。

いつも温かい灯をともして待っていてくれる場所があり、はたまた背中を押して送り出してくれる所でもあります。40 周年という月日の積み重ねはどれほど子どもたちの心の縁となってきたことでしょう。サッカー協会として心より深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。そして、おめでとうございます。

創立 40 周年を祝して

県央少年委員会委員長 杉本 実



綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。

綾瀬市のチームとしてご活躍されてから 40 年ということで、誠に素晴らしいの一言につきます。心からお祝い申し上げます。人見先生をはじめ、指導者・役員の方々のご努力下、県央地区および神奈川県を代表するチームに発展しました。オレンジのユニフォームがいろいろな大会で、元気よくボールを追いかけてゴールを目指す姿が、私には一番印象に残っています。

50 周年を目指し、綾南オレンジの益々の発展とご活躍を心からお祈りいたします。

創立 40 周年に寄せて！

綾瀬市立綾南小学校長 田中 恵吾



創立 40 周年、おめでとうございます。

この節目の年に綾南オレンジサッカー団の皆さんと一緒に 40 周年のお祝いができることを大変嬉しく思うとともに光栄にも感じております。

思い起こせば、3 年前に綾南小学校に着任し、本校の子供たちが夕方遅くまで、しかも保護者の方々の手作りのサーチライトの中でサッカーボールを追いかけて、汗まみれになって練習する姿にとっても感銘を受けたことが蘇ってきます。そして、子供たちが活躍するお話を聞くたびに何故か心が躍る感覚を覚えていました。きっと自分自身が学生時代にサッカーに関わっていたので、自然とそうさせたのだと思います。

さて、40 周年ということですが、ここまでの歩みには団員一人ひとりの頑張りはいうまでもありませんが、その陰で支えてこられた多くの方々の努力の結晶だと思います。心から敬意を表します。

最後になりますが、綾南オレンジサッカー団のご発展と団員の皆さんのさらなる活躍をお祈り申し上げてお祝いの言葉とさせていただきます。



綾南オレンジサッカー団創立40周年に向けて

FCレガレ代表・監督 黒川 裕行



綾南オレンジサッカー団創立40周年、誠におめでとうございます。

厳しい状況の中、40周年も活動してきたということは本当に凄いことだと思います。子ども達の健全育成を願ってのサッカー指導、人見さんをはじめとする指導者の方々、保護者の方々、地域の方々のご苦労は大変だったことと察します。しかしながら、40年間という長い年月を乗り越えられたのも皆様方の素晴らしい協力体制、子ども達を見守っていく温かい心があったからだと確信しているところです。本当に頭の下がる思いです。

綾瀬・座間と近くですので、招待大会・交歓試合と快く交流させていただいておりますが、これからも末永くお付き合いをさせていただきたいと考えているところです。

綾南オレンジサッカー団のますますのご発展と皆様方のご多幸をお祈りして、簡単ですがお祝いの言葉にかえさせていただきます。共に頑張りましょう。

綾南オレンジサッカー団創立40周年祝辞

原FC代表（横浜サッカー協会少年委員長）石井 和則



綾南オレンジサッカー団創立40周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。創立以来、父母・OB・コーチ陣の協力のもと、子どもたちの健全育成はもとより、地域におけるスポーツの振興に貢献されましたことは誠に顕著であり、その熱意と努力に深く敬意を表します。

これまでの40年間色々のご苦労もあったかと思いますが、人見代表をはじめとした指導者の皆様の少年サッカーに対する情熱と、それを支えてこられた保護者の皆様の協力体制がしっかりと今日まで引き継がれてきて、このような記念すべき日を迎えられたことと思います。創立40年といいますと県下でも老舗のチームにあたり、まさしく神奈川県少年サッカーの発展に多大なる貢献をされたものと称賛いたします。県大会などでの戦績も目を見張るものがあり、綾南オレンジを目標にするチームも多くありました。私共のチーム（原FC）もその一つで、招待試合・交流試合によく誘っていただき、色々とお世話させていただきました。今後もなお一層の交流をお願いしたいと思います。

結びに、サッカーは『子どもを大人にし、大人を紳士にするスポーツである』とよく言われます。綾南を巣立った選手たちが将来の日本の担い手として地域社会に対して貢献できるような人材として育てていくことを願うと共に、この創立40周年を機に神奈川の少年サッカーの先駆者として更に50年60年と益々ご活躍ご発展されますことを祈念申しあげ、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

すばらしい人材、すばらしいチーム

小出 SC 赤池 理



40 周年おめでとうございます。

綾南オレンジと言えばその名の通り、オレンジ色のユニフォームが印象的です。県のサッカー協会を通じて人見監督と知り合ってから、何度もご招待いただき、とても感謝しております。しかしながら、オレンジ軍団に土をつけたことはいまだかつて無いと思うので、いつの日か綾南さんの壁を乗り越えられるようなチームを作っていきたいと思っています。

ある招待試合で、選手権で準優勝したチームと一緒にすることがありました。その時、「最後まで残って綾南の試合が見たい。」と、選手から言われました。同年とはいえ、すばらしいサッカーをするオレンジ軍団、子どもたちにとっても魅力的なチームでした。

綾瀬スポーツ公園ができてから、大会で綾南さんのスタッフにお世話になることが多くあります。

人見監督の明るくおらかな人柄に、多くのすばらしい人材が集まっているのも、うらやましい限りです。

最後になりますが、貴チームが今後ますますご発展することを祈念しております。

40 周年に寄せて

FC 二宮 後藤 隆二



長年にわたり綾瀬市の少年サッカー活動をリードし、サッカー普及振興に大きく貢献されましたことに深く敬意を表します。

人見代表を始め、指導者・クラブ員・OB 諸氏および父母の皆様、いつも御世話になっております。この度は 40 周年記念を迎えられまして、心よりお祝い申し上げます。若輩チームであった FC 二宮を今まで継続して招待・交歓試合等にお招き頂きました事を改めてお礼を申し上げます。

綾南オレンジとのお付き合いで思い出すのは、今は亡き佐藤令次郎コーチとの出会いです。各試合等で双方が行き来して顔を合わせるうちに、相性が合うのか、たまたま年齢的に近かったのか気が合う友と成り、顔を合せばサッカー談義やら世間話で自分のチームの試合もそっちのけでよく話し込んでいたことが懐かしく思い出されます。

招待大会・交歓試合と快く交流させて頂いておりますが、これからも末永くお付き合いをさせて頂きたいと考えております。綾南オレンジの更なるご発展とご活躍を祈念申し上げると共に、皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

創立 40 周年を祝して

大野原フットボールクラブ 顧問 二階堂 陸治



綾南オレンジサッカー団創立 40 周年誠におめでとうございます。

40 年という永き歴史の中では、数々の栄光と変動が有った事と思われます。そして今日に至るまで、歴代の代表者を中心にコーチ、役員、ご父兄、そして OB の方々が一丸となりチームの発展、子供達の健全育成にご尽力され、大きく躍進されております事に心より敬意を表す次第です。大野原 FC も創立 37 年（創団 1977 年）になり、いつも後を追いつけておりますが、こればかりは追いつくことが出来ません。

私と人見代表との関わりは先生が綾南小に赴任したところからのお付き合いですから、かれこれ 30 年近くになるのではと思われます。子供たちに情熱をもって、時には厳しく、時には優しく対応され、又、基礎を大切に、技と速さのある素晴らしいチームを創っておられます。我々のチームも見習うところ大であり、良き手本であり、良きライバルとして大いに学びたいと思います。

私にはもうひとつ忘れることの出来ないものがあります。それは故佐藤令次郎氏です。同郷、同年代、温厚で人柄も良く、良き友、良きライバルとしての朋友を失った事はとても残念、無念でなりません。綾南オレンジサッカー団と共に永く記憶に残ることでしょう。

これからも益々のご隆盛とご発展を心より祈念致します。

綾南オレンジ 40 周年に寄せて

柏ヶ谷 FC 監督 中丸 一三



綾南オレンジ創立 40 周年、誠におめでとうございます。

綾南オレンジさんとは、綾瀬市、海老名市とお隣同士ということもあり、交流試合、招待試合と多くの貴重な体験をさせていただいております。人見代表をはじめ、コーチ・保護者のみなさまのお力で、40 年という長い年月、サッカーを通して子どもたちの育成にご尽力されましたこと、そして、県内における栄光の戦歴の数々に敬意を表します。

人見代表には、私が柏ヶ谷 FC の監督に就いてから、少年サッカーの育成や指導等、いろいろと助言していただき、私の指導者としての道しるべとなっており、大変感謝しております。これからも変わらぬ交流をお願いいたします。

綾南オレンジの益々のご発展とご活躍を心よりお祈りいたします。

「創立40周年おめでとうございます！」

FCオリオン 宮原 謙二



「県央に綾南オレンジあり！」我々少年サッカー関係者は、そのアグレッシブな闘う集団綾南オレンジには、常に一目置いています。

人見和人先生を中心に思いを同じにするコーチングスタッフが一貫した指導を行っており、保護者の支援体制も含め、多くのことを今も学ばせていただいております。30年ほど前に本団が創立した当初から、試合をお願いするといつも気持ちよく受けてくださり、綾南オレンジのプレーを手本にしてきました。選手全員、試合に対する集中力が最後の最後まで途切れないところが持ち味であり、強さの秘訣だと思います。ひ弱な子どもが多くなってきた昨今、このようにたくましい選手を育てることは至難の業だと思いますが、毎年アグレッシブなチームに仕上げてくるところはさすがだと感服いたしております。人見先生には、仕事の面でもお世話になることも多く、一生の友人としておつき合いさせていただければと願っております。

最後になりましたが、県央地区の良き仲間としてこれからもおつき合いいただくと共に、綾南オレンジの益々のご発展を心より祈念いたします。おじいちゃんになっても共に頑張りましょう！（ある意味、すでにおじいちゃんですけど...）

40周年を迎えられるにあたって

FC大和 団長 山中 勝久



この度、綾南オレンジサッカー団の創立から40周年を迎えられるにあたり、ここに記念誌を発行されますこと、心からお喜びとお祝いを申し上げます。

顧みますと、貴チームはミスタージャイアンツの長嶋茂雄氏が引退し、ボクシングのガッツ石松氏が世界チャンピオンになった昭和49年に創立されました。約2分の1世紀にわたる歩みにおいて、市内はもとより市外・県外のチームとも連携を保つ大切な役割を担いながら、チームとしての輝かしい足跡とともに少年サッカーの普及と発展に多大な貢献をされてこられました。これもひとえに歴代の代表をはじめ、関係者のみなさま方のたゆみないご努力の賜物であり、そうしたみなさまの熱意に対し、深甚なる敬意を表する次第です。

さて、私どもFC大和との関わりは、歴代開催されている綾瀬大和杯に当団が参加したことが始まりかと存じます。当時、若輩であったわがチームもこれを機に貴チームの招待試合にお声かけ頂いたことにより、スタッフ共々多岐にわたり勉強させていただきました。おかげをもちまして、現在では全日本少年サッカー大会や神奈川県選手権の会場運営も行えるチームとなり、選手たちも貴チームに追いつけ、追い越せを目標に、日々練習に精を出しておる次第です。当団として、少年サッカーの基盤を支えられている貴チームに、今後とも力強いご支援を申し上げます。

末筆になりましたが、この40周年の節目を契機とされ、綾南オレンジサッカー団が一層の飛躍を遂げられますとともに、会員各位のご健勝と更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

綾南サッカー少年団の 40 周年に寄せて

A.C.ROSSO 代表・監督 倉盛 福二郎

綾南サッカー少年団 40 周年、おめでとうございます。思えば、貴団とは 25 年のお付き合いになるのかと思います。本当にありがとうございます。

A.C.ROSSO の前身である「入谷サッカー少年団」が解散の危機にあるとき、縁あって再建に取り組むことになりました。しかし、市外チームはもとより市内チームとも試合を組むのが困難な時期、温かい援助の手を差し伸べてくださったのが、人見先生率いる「綾南サッカー少年団」でした。天と地ほどの実力差があるチームでしたが、嫌な顔ひとつなさらず招待杯等にも呼んでいただきました。再建の取りかかりになった学年が綾南招待大会で優勝できたことは、生涯忘れられない思い出です。これが再建の大きな礎になりました。

その後も、「早園 F C」の小林先生とともに公私にわたり大きな援助をいただきました。

そして、忘れられないのが県央 4 年生大会での「綾南サッカー少年団」との試合です。確か準決勝だったと思います。前半は試合の展開がうちのペースだったので、このままで点を取れるだろうと後半に入りましたが、展開ががらりと変わり信じられないうちに失点してしまいました。このときベンチワークの大切さを思い知らされました。

陰になり日向になり、惜しみない援助をいただいた「綾南サッカー少年団」の皆様には、感謝の言葉を尽くしきれません。ますますのご隆盛をお祈りいたします。そして、これからも末永いお付き合いをお願いします。

綾南 40 周年記念によせて

柳橋 SC 及川 勝雄

創立 40 周年おめでとうございます。

オレンジ色のユニホームがグラウンドにいと「綾南が来てる」とすぐに判るくらい、何度も印象に残されたチームでした。

私にとって特に印象に残っているのは、今から 25 年も前に山中湖での夏の合宿で練習試合をやってもらったことと、冬の選手権中央大会でシュートの集中砲火を浴びて敗れたことで、勝った試合は余り覚えていない位です。綾南から教えてもらったことは、子供たちの精神的な強さでどんなに負けていても強い気持ちで試合を進めているのが、過去も今も共通し、伝統として続いていることと感じます。

人見さんの気持ちが、子供及び指導者全体に伝統としてそのまま受け継がれ今日まで来たことは、我々のチームとして見習うべきことでもあります。

綾南も当チームも地域のチームであり同じ課題を抱えていると思いますが、チームとしても、子供たちに精神的な強さを植え付けられるよう頑張りたいと思います。

今後とも交流お願いするとともに、貴チームが今後益々発展されることを祈ります。

綾南オレンジ創立 40 周年おめでとうございます！

前 早園 FC 代表・監督 小林 美晴



40 年と簡単に言ってしまいますが、首都圏の大きな小学校が母体となっているチームとは違い、綾南オレンジが存続できてきたことは、人見先生のご人徳と関わりのある全ての方々のご尽力の賜物だと思います。

さて、儀礼的な言葉はそのくらいにして、本音を語らせて戴きます。小生も昨年度まで同じ市内の小さなチームの責任者として、少年サッカーに携わってきました。勝手な持論ですが、少年を指導すると言うことは、少なからず子どもを育てているんだという自負をもってほしいのです。ともすれば、小学生年代の子どもたちに、「サッカーを教えているんだ」と宣っている方とお会いすると、正直小生は、「何言っちゃってんの？」と虫酸が走ります。少年サッカーの指導者は、しっかりした人格を育てるんだという自負とカリスマ性が必要だと思います。そんな指導者に出会えたときに何かしらパワーが生まれるんだと思います。また、小生はそんな指導者に出会えたときにこの上なく幸せを感じます。県内にサッカー指導者は掃いて捨てるほどいますが、その中で数少ない希有な魅力的な指導者です。端的に言うと、綾南オレンジではないんです。人見先生なんです。人見先生がいいし、・・・でなければだめなんです。そんな人間的魅力をもった指導者だからこそ、人見イズムの下、たくさん子どもたちや OB や保護者が集まってくるのだと思います。

疲れたら、休んでください。止めて構わないと個人的には思います。ただ、周りはほっとかないとは思いますが・・・。あえて周りの方々をお願いします。人見先生は、綾瀬にとってかけがえのない必要不可欠な人物です。そんな宝物を、どうぞ末永く大切にしてください。

心から「FORZA 人見 & 綾南オレンジ」に幸あれ！

綾南オレンジ 40 周年に寄せて

綾瀬 FC ジェッツ 笠島 雅仁



綾南オレンジ創立 40 周年本当におめでとうございます。私と綾南オレンジとの関係はもう 20 年以上になります。私が初めて指導した綾瀬高校サッカー部や現在の綾瀬 FC に OB が多数在籍してくれて、過去には県外大会出場などの大活躍をしてくれました。私はその OB たちから他チーム出身者とは違う何かを感じました。

それは何かと考えると、ゲームにおいて“戦える”ということ、どんな相手に対しても向かっていける強いハートを持っているということです。現在、ジェッツをスタートして 5 年が経ち、いつも綾南オレンジと対戦する時にはその気迫に圧倒されてしまっています。いつまでも変わらないこの強いハートは、サッカーに限らず社会に出てからも必要な大事なものであり、これを支えているのは人見先生をはじめとするスタッフや保護者の皆様の変わらない熱いハートの結晶だと強く感服しています。これからも子供の育成・チーム作りのお手本となり、綾瀬をリードしていただきたいと思います。

綾南オレンジのますますのご活躍を期待しています。

創立 40 周年おめでとうございます

早園 F.C. 監督 山内 俊哉



小さな小さな市の中にある大きなチームとして、我々は、追いつけ追い越せと勝手に目標にさせて頂いておりますが、遠く遠い存在で後塵を拝しております 40 年間どれだけ多くの卒団生を輩出されてきたことでしょうか？毎年毎年違った選手が入団し、違ったチームの雰囲気を持っているにもかかわらず、最高学年を迎えた時は、黒 x オレンジのあのユニフォームを身にまとった「綾南オレンジサッカー団」が出来上がっています。

コーチ、保護者、選手と皆から慕われチームの顔として市内のみならず県央、県の顔としても人見代表が率いる姿は、親分のような存在でもある一方で、よくよく見てみるとチームにとっては、面倒見の良いオカアチャンのような存在なのではないでしょうか？また、人見代表を慕ってベテランのコーチ陣がこのチームを作る血となり肉となってその一端を担っています。グラウンドのチーム、組織としてのチームのみならず、綾瀬市の少年委員会としてのチームと多くの人を束ねられていることから人見代表の持つ魅力を説明するまでもありません次の 10 年、またその次の 10 年を目標に選手の育成、チーム作り等々私達の手本となる綾瀬市を代表するチームとして存在し続け、刺激を与え続けてください。この度は、本当に創立 40 周年おめでとうございます。

40 周年記念祝辞

綾瀬サッカー少年団 代表・監督 小松 大希



綾南オレンジ様創立 40 周年を迎えられ又記念誌が発行されます事を心よりお祝い申し上げます。40 年の永きにわたり青少年育成そして地域貢献の活動を続けられましたことは私どもにとりまして大きな励みと目標となっております。

弊社も代表・監督が代わりまだ 3 年と日も浅くまだまだ未熟、発展の途中です。

その当時団員も少なく活動を危ぶまれてた頃には常に気にかけていただき励ましのお言葉をかけていただいた事は今でも忘れることなく今日の原動力となっております。

これからも常に綾瀬のリーダーとして活躍して頂き変わらぬご指導をお願いいたします。

最後になりますが 40 周年を迎えられました貴チーム各位様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げますと共に、50 周年・60 周年と更なる飛躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

綾南オレンジサッカー団 40 周年へ

綾瀬市サッカー協会少年委員会副委員長
北の台サッカー団 熊木 龍也



綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。

私が選手時代と現在の指導者としての年数を合せると、綾南オレンジとのおつき合いは 21 年にもなります。37 年の人生の中で、21 年間にわたる綾南オレンジとの関わりを考えるといろいろなことが思い出されます。

私が小学生の時は、綾南最強時代があり（畑中君・沼田君など）、指導者になってか

らは、J2 岡山の飯田君の代や現役高校生高野君の代など、いろいろな選手や試合の思い出があります。その中でも山中湖カップの懇親会で、故佐藤コーチと大野原 FC の二階堂さんと私の 3 人で朝方まで呑み明かしたことが、私には一番の思い出として今でも深く残っています。

これからも 綾瀬市の先頭に立って 50 周年、60 周年と躍進することを願い、お祝いの言葉に変えさせていただきます。

綾南オレンジサッカー団 40 周年、本当におめでとうございます。

おめでとう 40 周年

フェニックス FC 代表 関 隆志



綾南オレンジサッカー団創立 40 周年おめでとうございます。

綾南が長い年月を歩んできた 40 年は、綾瀬の少年サッカーを牽引してきた 40 年でもあり、サッカーに熱心な選手がいて、情熱的な指導者の姿があり、いつも温かく見守っている育成会の姿がありました。この三位一体となつての活動および組織力には学ぶところが多く、わがフェニックスの目標でもあります。

綾南というと、個人技とパスを大事にし、粘り強く最後まであきらめない鍛え抜かれたサッカーは多くのことを学ばせていただきました。試合前の真剣に取り組む姿勢も綾南オレンジの素晴らしい一面でもあり、市内での活躍をはじめ、各地の大会で常に優秀な成績を残すなど、常々感心しています。綾南オレンジには、しっかりと確立された育成会組織と伝統があります。

今後も変わらぬ交流をお願いすると共に、40 周年という節目を迎えられ綾南オレンジが新たな目標に向かって前進し、益々発展することをお祈り致します。

創立 40 周年を祝して

落合サッカークラブ 代表 石神 博行



綾南オレンジサッカー団の皆様、創立 40 周年おめでとうございます。落合 SC を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

おそらく 40 年前、チームを立ち上げた頃は小学生のサッカー団という組織が現在のように多くなく、色々のご苦労も多かったのではと思います。そのようにして生まれた団を 40 年という長きにわたり素晴らしい団にしてこられた事には、これまでご指導や運営にあられた方々、子ども達を応援し支援する保護者の皆様など多くの方々の努力の積み重ねがあったからだと思います。

私が落合 SC に携わる事となった 17 年前、チームカラーであるオレンジのユニフォームに強豪という印象を感じていたことを思い出します。そして今でもその印象のままオレンジ色には感じるものがあります。それはとても素晴らしい事ではないでしょうか。

また、代表の人見様をはじめスタッフの皆様には、綾瀬市のサッカー発展の為に活動していただき大変お世話になっております。最後になりましたが、落合 SC が活動できるのも皆様のそういったおかげでもあります。ここに深くお礼を申し上げ、これからも綾南オレンジサッカー団のご繁栄をお祈りいたします。



卒団生の言葉



「創立 40 周年によせて」

第 1 期生 西城 敏明



綾南オレンジサッカー団 40 周年、誠におめでとうございます。この記念すべき節目の年を迎えられましたのも歴代の監督、指導者、役員、保護者の皆様の尽力があったからこそであり心より敬意を表します。

また私たち一期生から始まったサッカー団が 40 年も続いているということが大変うれしく思います。始まりは創立者である熊倉俊夫先生から『おーい、おまえら！今度の土曜日から弁当持って来い！午後はサッカーを教えてやる。』と声を掛けていただき、3 人ぐらいで始めたボール蹴りです。しばらくしてチームを作ろうとの事で学年全部に声を掛け、20 人ぐらいのチームとなりました。ユニフォームは先生と何人かで考えた黒とオレンジでしたが、このカラーが今も受け継がれていることも大変うれしく思います。

私事です結婚して厚木市に在住し、自分の子供がゴールブランダーズ（GP）に入団しました。その GP が綾南オレンジと親交がある事を知り、人見監督と出会いました。少年サッカーは人と人との出会い、繋がりや絆をもたらす力も持っているのではないのでしょうか。40 年の伝統を重ねた綾南オレンジが益々ご活躍、ご発展されますように心よりお祈り申し上げます。

『綾瀬町育ち』

第 2 期生 森川 恭司



この度、綾南オレンジサッカー団 創設 40 周年を迎えられ、おめでとう御座います

この 40 年間、輝かしい実績を残してこられ、またサッカーを通して団員への健全育成にご尽力されました指導の先生、監督、コーチ、更に在籍した子供たち、ご父兄の方々大勢の力で 40 周年という大きな節目を迎えることができたことに、心からお祝い申し上げます。

自分が在籍した 2 期時代を遥か遠い昔の出来事として思い出すと、その時代のサッカーはテレビでは見る事は少なく、社会人クラブの日本リーグはありましたがサッカー低迷の冬の時代とまで呼ばれていた時代で、今のように子ども達が憧れるメジャースポーツでは無かったものでした。

自分自身も 6 年生のときに綾瀬へ引っ越して来て、偶然にも綾南オレンジの指導をしていた岡村先生のクラスに転入し、岡村先生や既にオレンジに在籍していた同じクラスの友人たちの誘いがオレンジに入団するきっかけでした。

その頃のオレンジは、現在のオレンジでは想像もつかない位の活動状態で、発足 2 年目と言うこともあり、週一度土曜日の授業が終わった後に学校のグラウンドで午後の夕方までが練習日で、練習後にパンと牛乳を貰えることを楽しみにサッカーをやっていた気がします。対外試合も殆ど行われることも無く（小学生のサッカーチーム数も少なく）年間に 3,4 試合行われる程度で練習がメインとなる活動でした。普段学校が終わった後の遊びでもグラウンドが取れないこともありサッカーよりも草野球をして遊ぶことの方が多く、今の子供達のようなサッカー漬けの日々とは真逆な状態でありました。只、土曜だけは綾南グラウンドを使えることで、団員（サッカー仲間）で縦横無尽に走り回れることが嬉しくてサッカーを楽しんでいたように思います。

今では J リーグ発足以降、サッカーブームに沸き、特に小学生におけるサッカー人気は高く幼少時代からサッカーを志す子どもたちが増えたこともあり小学生のサッカー技術（レベル）はオレンジの子どもたちを見ても昔と今では比べようが無い位上達しています。

それでも激戦の神奈川県で上位に食い込むには並大抵の努力では中々上がれないことも多く悔しい思いをすることも多いかもしれませんが、子ども達のただ純粋にサッカーが好きで一生懸命に戦っている姿を見ると何時までも応援し続けたいと思います。

これからもサッカーを通じて忘れられない親友を築き、応援している人たちに感動を与えられるような綾南オレンジサッカー団を祈念してお祝いの言葉と致します。

『綾南オレンジサッカー団四十周年に寄せて』

第6期生 鈴木 敦



この度は綾南オレンジサッカー団の創立四十周年、誠におめでとうございます。
四十年という素晴らしい歴史は、人見代表を始めとした指導者皆様の情熱と、御父兄の御理解御協力、そして、児童のサッカーへの愛情の賜物だと存じます。
私がサッカーを始めたのは小学五年生、綾南を指導されていた山口先生が担任教師という縁からでした。

学校にいる時だけではなく、家庭訪問時にも先生は入団を勧めてくれました。当時は野球をやっていたのですが、授業のサッカーが楽しくて楽しくて、暫く後には入団となりました。

綾南サッカーに始めて参加した日の事は今でも脳裏に焼き付き、色褪せる事はありません。ボールを追い、蹴り、ゴールへ向かう、こんな単純な事がここまで楽しいのかと。

以来三十五年、私の人生はサッカーと供にありました。良き指導者、多くの友との出会いにも恵まれ、サッカーを通じ、素晴らしい得がたい経験を重ねて参りました。これも綾南サッカーとの出会いがあったからです。

これからもサッカーの魅力と楽しさを伝え、子供達の成長の糧となる様に、綾南オレンジサッカー団の益々の御活躍と御発展を祈念致します。

受け継がれる綾南 DNA

第13期生 岩田 壮一郎



綾南オレンジサッカー団創立40周年おめでとうございます。私は山口先生が1・2年次の担任教諭であったことがきっかけで、1年生からサッカー団に入団させていただきました。当時は、毎日練習があり、日が暮れるまでグラウンドでボールを蹴っていました。暗くなってボールが見え難くなると教室の灯りや車のライトでグラウンドを照らしていただき練習をさせてもらっていたことを記憶しています。また、毎週末の試合や山中湖での合宿などもあり、小学校時代はサッカーばかりしていました。しかし、先生やコーチ、父兄の方々の熱心な指導やサポートのおかげで、楽しくサッカーをすることができただけでなく、団での活動を通して躰やマナー、協調性や努力することなど多くのことを学ぶことができていたと大人になって改めて感じています。サッカーだけを学ばせる場でないからこそ、オレンジが40年という歴史を刻むことができているのだと思います。

現在、長男が40期、次男が44期に在籍しており親子2代にわたりオレンジにお世話になっています。

綾南オレンジの更なる発展、躍進をお祈りするとともに、オレンジのDNAの継承に少しでも貢献できればと思います。

何10年後には孫が入団していることを夢見ながら・・・

綾南への感謝

第13期生 大貫 聖



このたびは創立40周年おめでとうございます。

一言で40年と言ってしまうと簡単ではありますが、その間のご努力には、これまでの監督、コーチをはじめ、保護者の方、指導者の皆様方の並々ならぬご苦勞あったことと、推察いたし、心より敬意を表します、私も小学生時代に綾南小学校グラウンドで試合や練習をしたことが懐かしく思い出されます。また、サッカーを通じ多くの人達に接する機会を得、指導を受け、また貴重な体験をしました。

今後、なおいつそうのご躍進をとげられますよう、心からお祈り申し上げます。

思い返せば

第14期生 鈴木 秀和



この度は、綾南オレンジサッカー団が40周年との事でお祝い申し上げます。

私は、第14期に入団させて頂き、小学校卒業までの4年間を過ごさせて頂きました。残念ながらサッカーは小学校までで、以降はバスケットボールを社会人まで約20年間続けて参りました。中学校からは本格的な部活動となり、年齢が進むにつれて、チームと個人の能力を高める事が求められてきますが、基本となるのは規律・礼儀だったかと思います。この基本は綾南オレンジで最初に教えて頂いた事ではないかと思います。サッカー・バスケットとスポーツを通じて、日常生活では体験する事の出来ない貴重な経験をする事ができ、その過程で20年以上のお付き合いができる恩師・友人とも出会う事が出来ました。また、社会人（人間）としては、多くの困難な出来事にも遭遇しましたが、過去の経験と多くの仲間に支えられて現在の自分があると思います。現在は、ひとりの親として子供の可能性を引き出す事が出来るよう、あらゆるチャンスを与えていけたらと思います。

綾南オレンジの思い出

第15期生 桂田 泰成



創立40周年おめでとうございます。

僕は小学2年生の時に綾南オレンジに入団しました。小学校時代のことについては、今でもはっきり覚えています。学校が終わって家に帰ると、毎日すぐにボールを持って出かけて行きました。

人見先生を始め、神谷コーチ、佐藤コーチ、朝熊コーチ、その他たくさんのOBの方々にサッカーを通じていろいろな経験をさせてもらいました。とても貴重な財産だと思っています。

今後も僕みたいに思える子がたくさん綾南オレンジから卒団していくことだと思います。本当にお世話になりました。感謝しております。これからも綾南オレンジのますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

綾南オレンジの思い出

第15期生 鈴木 光太郎



綾南オレンジサッカー団40周年おめでとうございます。

自分が子を持つ父になり、毎週試合に来ていただいた先生・コーチ、そして親たちに感謝をし、今の自分に何が出来るかなと思いながら当時の写真を見ています。

小学2年の2学期だったと思いますが、同じクラスの友達に誘われ、始めたサッカーを高校卒業までその友達と一緒にやることができました。あの誘いが無ければ多くの喜び、悲しみ、思い出、出会いがなかったと思うととても感謝しています。

「小学校時代は2チーム、中学時代はなし、高校はたくさんのチーム」これは、試合をして負けるかなと思ったチーム数です。我々の期はとても優秀な仲間が多く、そう感じたのは高校は別々でしたが、皆が各チームの主力選手として活躍していたことです。練習の時、よくやったのがチームキャプテンがジャンケンをして1人ずつ選んでチームを作り試合をする。とても残酷なルールでしたがこれが競争心を煽り、レベルアップに繋がったのかと思います。

最後になりますが、ますますの綾南オレンジサッカー団のご活躍、そして常勝サッカー団となるよう期待しております。

綾南オレンジ 40 周年記念式典の祝いに寄せて

第 16 期生 阿部 健



綾南オレンジ創立 40 周年おめでとうございます。ボールを蹴ることが大好きなわんぱく坊主たちが、温かい指導者に恵まれて、サッカーを楽しんで、大人になって、またわんぱく坊主たちにサッカーを教えて…ということが 40 年もの間、連綿とつながっていったことに、深い感慨を覚えます。

僕が綾南オレンジにいて、印象に残っていることの一つは、グラウンドに照明がついて、遅くまで練習ができるようになったことです。綾南オレンジががんばっていることが認められたようで、とてもうれしく、もっとがんばろうと思いました。

僕は 16 期生ですが、上の学年がとても強く、帯同して試合に参加したとき、他のチームを圧倒するレベルの高さに憧れ、僕ももっと高みを目指そうと思いました。

時が過ぎ、僕の子供が小学校に通うようになり、息子がサッカーを始めました。僕が汗を流したグラウンドで、僕が教えてもらったコーチに、息子が指導していただけていることに、この上ないうれしさと懐かしさを感じます。

これからも綾南オレンジサッカー団のますますの発展とご健勝をお祈り致します。

「綾南オレンジの思い出」

第 17 期生 金子 隆



綾南オレンジ 40 周年記念、誠におめでとうございます。

私が綾南オレンジで過ごした 4 年間はすでに 23 年も前のことになります。毎日の学校が終わってからのランニングや練習、試合での勝つ喜びや負けた時の悔しさ等…思い返すといろいろなことがありました。特に、遠征や合宿で大変だったことや楽しかったことが様々思い出されます。これら全ての場面で監督やコーチの方たちからたくさんのことを教えて頂きました。私が中・高・大学と競技こそ違うバレーボールの世界で頑張れたのは、綾南オレンジのサッカーで学んだ全てのことが始まりだと思います。団体スポーツでの大事なことを知ったのも、監督の厳しくも優しい(?) 教えが原点だったと思っています。長い年月にわたり団を支え見守ってくれた監督に感謝してます。この綾南オレンジから J リーグで活躍する選手がたくさん出ることを期待しています。監督本当に有り難うございます。

「綾南オレンジ 40 周年に寄せて」

第 18 期生 湖山 邦彦



綾南オレンジサッカー団 40 周年おめでとうございます。

綾南オレンジに入団したのは 2 年生のときで、毎日のように家に帰ったらランドセルを置いて、すぐ学校に行ってボールを蹴っていたことを思い出します。高学年になると、試合の数も増えてきて、ミスをしたり変な試合をしたりすると、人見先生に怒鳴られ、試合が終わるとグラウンドを何十周も走らされ、あれはキツかったです。夏恒例の合宿には毎年参加しましたが、サッカーに関係なくキャンプファイアーやスイカ割りなどいろいろなイベントがあったり、子ども達だけで大部屋に寝泊まりしたりしてすごく楽しい思い出ばかりです。でも、ホテルからグラウンドまでの走りは辛かったです。

サッカーを通じていろいろな人に出会いました。小学校の時は敵チームだった友達とも今は仲良く昔のサッカーの話で盛り上がっています。そんな自分も 30 代になり、18 期生としてこの寄稿文を書くことになりサッカーを通じていろいろな人に迷惑をかけ、助けられてきたんだと実感しています。この場をかりて、人見先生、コーチの方々、父兄の皆様ありがとうございました。

綾南オレンジサッカー団 OB として、50 周年、100 周年と末永く活躍されることを願ってます。

祝 40 周年記念

第 19 期生 佐々木 吟



この度、綾南オレンジサッカー団が創立 40 周年の記念すべき年を迎えられた事を、心からお祝い申し上げます。この 40 年間、数々の実績を残してこられ、オレンジの発展のためご尽力されました歴代のコーチ、ご父兄、OB、関係各位そしてグラウンドを元気に駆け回る選手達の、努力の歴史だと思います。

私は小学 2 年生の時にオレンジに入り本格的にサッカーを始め、月曜日以外は練習、日曜日は試合とサッカーばかりしていた記憶しかありません。グラウンドではコーチや、たくさんの仲間と飽きることなく 1 日中ボールを蹴ってすごし、嬉しかった事や悔しかった事、夏の合宿が辛かったけど仲間たちと一緒に頑張って助け合えた事など沢山の思い出があります。

なかでもとくに私が強く印象に残っていることは、高学年になってくると人見先生の登場が多くなり、怯えながら試合をしていた印象が強く、またここでも仲間意識が芽生えオレンジ時代に一緒になってサッカーをしていた仲間は、卒団して 20 年以上経ちますが、未だに悪友として遊んでおります。今後さらに 10 年・20 年と綾南オレンジサッカー団の歴史を積み重ね、オレンジ 2 世・3 世を人見先生にご指導頂き、親子の会話が増えれば家庭は平和ではないでしょうか？お父さんの威厳も保たれるかとは思いますが。

子どもの人数も減ってきた現在、サッカーチームを維持することは大変だと思いますが、人見先生を中心に地域の方や OB の皆様の力で継続し続け、繁栄していく事を陰ながら応援させて頂き、心よりお祈り申し上げます。40 周年おめでとうございます。

祝 40 周年！

第 20 期生 渡辺 剛



綾南オレンジサッカー団創立 40 周年、おめでとうございます。

私たち 20 期生が栄えある成績を残せたかどうかはさておき、素直に 6 年間綾南オレンジでプレーできたことを、今改めて光栄に思い、また誇りに感じる次第です。

あの頃を振り返ると、単純に楽しかったこと、走ってばかりで辛かったこと、たくさん思い出されますが、大人になって今こうしてじっくり考えると、学校では味わえない特別な時間、大袈裟に言うところ「教育」そのものであったように思います。

勝負の厳しさを知るのはもちろん、試合に勝っても、内容が悪ければ試合の後グラウンドを走る（人見先生が ok と言うまで）。綾瀬小学校から綾南小学校まで走るなんてこともありました（今では無理です）。それは綾南のプライドであるのかもしれませんが、結果だけではなく、その「プロセス」が最も重要だということを心と身体で学ぶことができました。これから結果重視の大人社会へ飛び込んでいく子供たちにとって、大変意味のあることだと思います。

人見先生をはじめ、たくさんのコーチ陣、両親、そして何と言っても最高の仲間たちに囲まれて、こうした貴重な体験ができたことを幸せに感じています。これからも、綾南オレンジが輝き続け、益々発展していくことを願っております。そしていつしか綾南オレンジ卒の AC ミラン選手が出てくる日を楽しみにしています。

「綾南オレンジへの思い」

第21期生 山口 哲也



創立40周年おめでとうございます。

40年という長い年月の間、綾南オレンジを支えてこられた人見先生、並びに多くの指導者の方々、また、保護者の皆様に敬意を表すとともに感謝申し上げます。

私が綾南オレンジに在籍していた時に、Jリーグが開幕しサッカー人気が高まりました。Jリーガーに憧れ毎日練習していたことを今でも鮮明に思い出します。そんな毎日の練習の中で、サッカーの技術や体力はもちろんのこと、『礼儀』や目標達成に必要な『忍耐力』、仲間との『協調性』など人間性を育てていただきました。これらは社会人になった今でも活かされていると感じます。昨今では、世界のサッカーに憧れ、世界を目指す子供達が増加しています。また、社会においてもグローバル化が当然のように求められる時代になってきました。サッカーに限らず世界に通用する人間性を持った子供が、綾南オレンジからひとりでも多く輩出されることを期待しています。綾南オレンジの益々のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。

原点・感謝の気持ちを込めて

第22期生 中村 雄太



この度は、綾南オレンジが設立40周年を迎えられた事に心よりお祝い申し上げます。

近年、Jリーグの発展に伴い1998年に初のワールドカップ出場を果たし、世界における日本サッカーのプレゼンスは向上の一途をたどっています。日本代表の飛躍及び日本人サッカー選手の海外での活躍はメディアを通じて毎日のように情報を目にします。

サッカーは刻々と変化する状況の中で、ピッチ上で起こる様々な問題を選手自身が判断し解決するスポーツです。状況を正しく認識し論理的に考え、最良の判断を下す能力が求められます。誰かに指示されて動く選手や技術、身体能力だけでは不十分なのがサッカーです。

私が綾南オレンジで指導を受けていた時は挨拶、規律、継続は必要不可欠でした。

サッカーが上達したいと思う事はもちろんでしたが、人が人として生きていく為に必要な物事の考え方や捉え方を学ぶ事が出来たと思います。

現在、綾南オレンジに所属している子供たちのみなさんも自分の選んだ目標に向けて言葉や行動に責任をもって一日一日を大切に過ごして下さい。

私たちの“綾南オレンジが、いつまでも”綾南オレンジであります様に、50周年、60周年とお祝い出来ます様に心から御祈念致しております。

グラウンドに挨拶

第23期生 篠辺 潔



綾南オレンジ40周年記念おめでとうございます。オレンジの6年間で学んだことはグラウンドに挨拶をする精神です。グラウンドに挨拶をすることにすべての意味が含まれています。そこにあるボールやゴールなどの備品、それを準備してくださった人々、一緒に試合をするための仲間と相手チームなどに感謝を示す。それがグラウンドに挨拶をする精神です。

学生時代は、特にそれを意識していませんでしたが、大人になってそれに気が付きました。場所や人に対して、それを意識することで、スムーズに生きてこられた気がします。

また、続けることと改善策を考えることの大切さも、オレンジで知ることができました。

やめたいと思ったこともありますが、続けることで改善されること、改善するために考えて行動しなければならないことに、卒団してから気づきました。すいません(・_・;)

最後に、大切な精神を学べる綾南オレンジが、ますます発展することを祈っています。

サッカーはチームワーク！

第24期生 新倉 悠太



創立40周年おめでとうございます。綾南小での放課後の練習、休日の試合を懐かしく思います。

とくに大雪の日の試合は忘れられません。ご父兄に作っていただいた豚汁は、冷えた身体にとっても暖まる心のこもった一杯でした。負けてばかりで、成績は残せなかったけれども、仲間と協力することや、努力すること、礼儀など、社会生活に必要なことをたくさん学びました。サッカーを続けて良かったと思います。監督、コーチの方々の厳しいご指導、ご父兄のみなさんの応援、ありがとうございました。今後のご活躍とご発展をお祈りしております。

感謝

第25期生 伊藤 拓郎



綾南オレンジサッカー団 40周年おめでとうございます。

綾南オレンジでは、サッカーへの取り組み礼儀、今の自分自身を作っている基礎を作り上げた場所だと思っています。

人見先生をはじめコーチの方々、保護者の方、両親、色々な方に支えられてサッカーができていたのだと感じます。

同学年に6人という少ないチームメイト、常に上の学年、下の学年に助けてもらい試合をしていました。招待試合で優勝経験のない数少ない代なのではないでしょうか。

それでもチームメイトと時には喧嘩もし切磋琢磨しサッカーを楽しむことができ、スポーツが好きになり、スポーツに関わる仕事がしたいという夢ができ、それを叶えスポーツトレーナー、柔道整復師として活動することができています。

これからの団員にもそんな目標や夢を見つけサッカーを楽しんで欲しいと思います。

これからも綾南オレンジサッカー団の繁栄を心より祈っております。

綾南オレンジの思い出

第26期生 西崎 圭介



綾南オレンジサッカー団、40周年おめでとうございます。人見監督・佐藤コーチをはじめ沢山のコーチの方々、サポートしてくれた父兄の方々、大変お世話になりました。

僕は1年生の時に綾南オレンジに入団しました。低学年の頃から高学年の試合によく出場させてもらっていました。僕は左利きだったのでポジションは左ウイングでした。1番の思い出は6年生の最後の大会で優勝できた事と、僕がMVPをもらった事です。綾南オレンジでの経験があり中学・高校・大学とサッカーを続けてこれました。今でも綾南オレンジの後輩などと社会人のチームでサッカーを続けています。綾南オレンジサッカー団の活躍と更なる発展を期待しています。

原 点

第27期生 服部 和樹



創立40周年、誠におめでとうございます。私が卒団してから、もう13年もたつのかと思うと、月日の経つ早さを感じてしまいます。

しかし、13年たった今でも、綾南オレンジで過ごした3年間のことは良いことも悪いことも、とても良く覚えています。入団のきっかけは友達からの誘いでした。

当時、友達の少なかった私は、サッカーに対して興味がなかったにも関わらず、誘われた嬉しさで入団しました。しかし、運動神経も悪く、興味もなかった私は毎日遅くまで行われる練習が嫌で、ずっと辞めたいと思っていました。

そんな私でも同年代の団員が少なかったことで、スタメンとして試合には出場していました。

私達27期は、強いオレンジの中でも弱い学年でした。3学期最後の市内大会で初めて優勝した時に、嬉しさのあまり泣いてしまったことは今でも忘れません。

その後は、中学で野球部 高校ではバスケ部を経験し、社会人になった今でも、週2日はバスケを楽しんでいます。「もしあの時、辞めていたら・・・」きっとこうはならなかったでしょう。辛くても最後まで続ければ、必ず良い結果が生まれる、そう思える原点はオレンジのサッカーで学びました。支えて下さった父兄の皆様 監督 コーチの皆様本当に有難う御座いました。これからも綾南オレンジの発展と繁栄を心より願っております。

今思うこと

第28期 中川 佳祐



綾南オレンジ40周年、おめでとうございます。

40年の歴史があり私たちが一生懸命サッカーボールを追いかけて、楽しめたのは、監督、コーチ、父母の皆様のご協力があったからだと思います。

卒団してから12年、社会人になりサッカーを教える立場になり日々奮闘しています。

在団生のみなさん、楽しくボールを追いかけていますか？楽しくプレーしていますか？一生懸命頑張れば必ず上手になります。いま何をしなければいけないのか、監督、コーチは何をどんなことを求めているのかをしっかりと理解し一生懸命取り組んで下さい。そのようなことが出来るようになると周囲の事にも気づき、感謝のできる人間になると思います。

大きな期待と目標を持って頑張ってください。

そして、社会人になった今もサッカーに携わらせて頂いているのも“綾南オレンジ”が私の原点にあるからだと感じています。

これからも少年の心を忘れず、楽しむ事、何事に取り組む時の気持ち姿勢を伝え続け、若いパワーを貰い、私自身も日々精進していきたいと考えています。

綾南オレンジサッカー団の益々の発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

綾南オレンジ 40 周年

第 29 期生 山中 浩平



この度は綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。

卒団して早十数年が過ぎたという事を考えると時の流れは早いと感じさせられます。

小 2 の時に入団し、怒られたり 褒められたりしながらサッカーをやっていた中で、努力する事、チームワークの大切さ、仲間の大切さなど様々な事を学び、色々な経験をさせてもらいました。

その中でも、仲間を大切にすることがいかに大事か喧嘩の多かったチームに教えてくれた監督 コーチ陣にとっても感謝しています。

卒団して十数年たった今でも、半数以上の 29 期の仲間達と一緒にフットサルチームを作り、仲良く楽しみながらやっています。

幼い頃から一緒にサッカーをやってきた仲間と今でもこうして関わっていただけるのは、綾南オレンジがあったからだと思っています。

そして、ここまで仲良くやってきた仲間を自分はとても誇りに思います。

仲間なしでチームは生まれないし、チームワークなしではチームとして成り立たないと思うので現団員の方々、仲間を大切に出来る様、綾南オレンジという誇らしいチームで頑張ってください。

今後の綾南オレンジの発展とご活躍をお祈りしています。

40 周年お祝の言葉

第 29 期生 石川 和



この度は綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。

私は男子チームに初めての女子として 5 年間頑張っていました。人見監督をはじめとし、コーチや保護者の皆様に温かく支えていただき本当に経験を得ることが出来ました。

そしてあの頃メンバーと一緒に頑張った経験は今の私にとって宝物です。

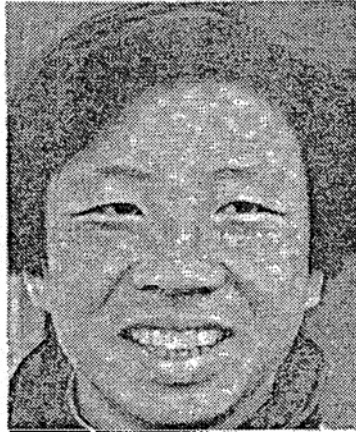
メンバーとは今でも仲良く、綾南オレンジには感謝することばかりです。

これからも末永く、皆のよりどころであってほしいと願い、益々の活躍を祈願しています。

第十五回 県少年サッカー権 優勝

ホップ・
ステップ・
ジャンプ。

人見



ひとみ・かずと 綾瀬市立綾南小学校教諭。サッカーは走れ、走れがモットー。戸塚高から明治大学卒。綾瀬市寺尾釜田に妻と子供2人。32歳。

県少年サッカー選手権高学年の部で優勝した綾南オレンジの監督

人見 和 人さん

「素晴らしい選手たちであり、生徒たちです。表彰式に誇らしげな顔で並んだイレブンの姿に、ほおを紅潮させて拍手をおくった。一昨年、チームが四年生の時、低学年の部で優勝。そのチームが育って高学年の部も制した。選手にとっても、僕にとっても、二度の優勝は良い思い出になります。こんな体験をさせて

くれた選手たちに感謝したい」

自身は野球少年で子供時代を過ごし、三年前綾南小学校に転任するまで、サッカーとは縁がなかった。前任の先生が、綾南小の生徒を恵まれ、僕は後で見てい

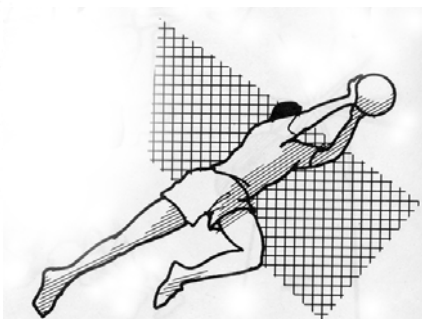
中心としたスポーツ少年団サッカーの面倒を見ており「後任者という事で監督役を引き継いだだけ。いまだにサッカーのことはよく知りません。良いコーチに恵まれ、僕は後で見ていた。(岩崎 隆久記者)

ただけ」といふ。

技術的には、もっと上のチームがたぶんあると思います、という指揮官は勝因に「よく走り、みんながフォローし合っているんだこと」を挙げた。

「走ることは、すべてのスポーツの基本。協力してひとつのことを成し遂げる。思いやりのある心を持つことも社会生活では大切なことだと思っています。サッカーを通じての二つが分かってくれば十分です。決勝戦では、両方ともができていた」と目を細めた。

選手によれば「教室ではやさしいけど、サッカーになると怖い先生」と評される熱血先生「また短気なだけですが、何でも我慢できない姿が浮き彫りになった。(岩崎 隆久記者)





綾南オレンジサッカー団の40年



Part 1 (第 1 期～第 29 期)

- ・ あゆみ
- ・ 名 簿

Part 2 (第 30 期～第 39 期)

- ・ 40 周年に寄せて
- ・ 名 簿

綾南オレンジサッカー団誕生について

綾瀬小学校が本校であとは殆ど分校という頃、本・分校の先生方でサッカー部を作り試合をされていました。それを土台にして、各分校が独立したらサッカークラブを作って、リーグ戦をやろうという当時の先生方の夢でした。

綾南分校が独立し、2年目に現在の校舎が完成し移転した時点で5年生主体で発足し、当時は30名近くの部員がいたようです。

ユニフォームは、皆で相談して色だけを決め、熊倉先生がオレンジと黒を基調にデザインされました。それが、今、綾南オレンジという名残りになり使われています。

■あゆみ

第1期 昭和49年度(1974.4～1975.3) 熊倉監督・阿部会長

- 熊倉先生のクラスを中心に、約30名ほどの部員により正式に活動始まる。●練習日は土曜日の午後が主であった。
- 交流試合は熊倉先生の先輩の先生が指導する東京保谷東チームであった。

第2期 昭和50年度(1975.4～1976.3) 岡村監督・阿部会長

- 熊倉先生が東京へ転勤され、岡村先生が監督就任、山口先生が2学期より手伝い。●練習日は土曜日のみ、3時頃におやつとしてパンを配布。●交流試合を日曜日に数回行う。●合宿を綾南地区センター前の綾南分校(S26年頃迄使用)で開催。

第3期 昭和51年度(1976.4～1977.3) 山口監督・三澤会長

- 岡村先生が転勤のため、山口先生が監督就任。●協会に登録し、4年生より募集する。●練習日は火・木・土と本格的な活動となる。●第2回神奈川県選手権出場。●第1回県央大会出場。●2回目の合宿を地区センターで開催、プールが風呂代わりに変身、全員台風の雨の中、裸で猛練習。朝はパン、昼はおにぎり、夜はカレー(最高5杯のおかわりあり)とお母さんたちが作って来てくれる。

第4期 昭和52年度(1977.4～1978.3) 山口監督・石渡会長

- 練習日は月～金曜日となり、更に本格的な活動となる。●交流試合が土・日曜日となり、水曜日は定期的に天台へ行って交流試合●第1回全日本少年サッカー大会神奈川県大会に綾瀬選抜で出場。DFとして住吉、FWとして福島が選抜チームのレギュラーをとる。●さわやか杯に綾瀬選抜で出場 準優勝●清水FC、GP杯に出場

第5期 昭和53年度(1978.4～1979.3) 山口監督・石渡会長

- 市制記念大会が11月に開催。●第5回神奈川県少年サッカー選手権大会出場、第4戦は深夜から雪が深々と降り続きグラウンド一面雪が積もっていた。●およそ2時間遅れでゲームが開始となるが、選手も審判も雪の上を思うように走れずハプニングが続出。

第6期 昭和54年度(1979.4～1980.3) 山口監督・命長会長

- 車のライトを付け夜8時過ぎまで猛練習をするが、なかなか戦績には繋がらない。●合宿を河口湖で2泊3日にて開催。ゲームや花火・スイカ割等で子供達は大はしゃぎ。大人達は夜の部で大はしゃぎ。

第7期 昭和55年度(1980.4～1981.3) 山口監督・菅原会長

- 子供の希望により校長の許可を得て大会前に朝練始まる。冬はグラウンドに霜が降りてボールが思うように蹴れず足がとても痛かった。●寒川杯(3月)に行くが、みぞれまじりの雨が降り、ゲームが終わっても選手全員家に帰るまでふるえっぱなしであった。至急各家庭に連絡を取り、お風呂を沸かして待機しているようお願いをする。

第8期 昭和56年度(1981.4～1982.3) 山口監督・佐藤会長

- 全日本少年サッカー大会神奈川県大会を5年生で出場し、6年相手に3回戦までオープン攻撃で勝ち進む。

第9期 昭和57年度(1982.4～1983.3) 山口監督・束田会長

- 第8回県央大会で惜しくも優勝を逃す。●神奈川県大会の会場校となり初めてブロックを勝ち取る。●神奈川県大会低学年の部でブロック決勝まで上がり、PK戦となりサドンデスに入り、なんと11人目のキーパー板垣で決まるというものすごい試合であった。

第10期 昭和58年度(1983.4～1984.3) 山口監督・深和会長

●清水に遠征(4月)強豪チームを総なめにする。●第8回さわやか杯 優勝

第11期 昭和59年度(1984.4～1985.3) 山口監督・建石会長

●10周年記念誌発刊 ●第1回綾南杯開催優勝 ●第11回神奈川県少年サッカー選手権大会低学年の部優勝(4年)

第12期 昭和60年度(1985.4～1986.3) 朽木監督・井原会長

●山口先生が綾西小学校へ転勤され、朽木先生が監督就任。●全日本少年サッカー大会神奈川県大会ブロック優勝するが、中央大会1回戦敗退。●相模大橋で親子バーベキュー開催

第13期 昭和61年度(1986.4～1987.3) 人見監督・山田会長

●朽木先生が春日台中学校へ転勤され、人見先生が土棚小学校より綾南小学校へ着任、監督就任。●第10回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会進出(6年) ●第8回こどもの国キリンカップ大会中学年の部 優勝(4年) ●第13回神奈川県少年サッカー選手権大会低学年の部 優勝(4年)

第14期 昭和62年度(1987.4～1988.3) 人見監督・伊能会長

●第11回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会進出(6年) ●第1回綾南ジュニア招待(4年生大会) 少年サッカー大会開催

第15期 昭和63年度(1988.4～1989.3) 人見監督・鈴木会長

●第12回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会 準優勝(6年) ●関東少年サッカー大会神奈川県代表 準優勝(6年) ●第14回県央少年サッカー大会 優勝(6年) ●千葉県館山市コパ・セルジオ大会初遠征優勝(6年) ●第15回神奈川県少年サッカー選手権大会高学年の部 優勝(6年)

第16期 平成1年度(1989.4～1990.3) 人見監督・朝熊会長

●団組織一部改組 本部と6年を分け、学年委員長制度を導入 ●第13回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会進出(6年) ●第1回綾南・早園カップ(2年生大会) 開催

第17期 平成2年度(1990.4～1991.3) 人見監督・山本会長

●神奈川県協会登録チーム名“綾南オレンジ”に変更(正式登録名は“綾南オレンジサッカー団”) ●ユニフォーム黒基調から現在のオレンジ基調へ変更(サブは白) ●第14回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会進出(6年) ●第12回こどもの国キリンカップ大会高学年の部 準優勝(6年) ●第16回県央少年サッカー大会 準優勝(6年)

第18期 平成3年度(1991.4～1992.3) 人見監督・湖山会長

●茨城県日立市日立桜カップ初遠征(6年) ●都市対抗1回戦で中里とPK14-13の歴史的死闘を演じ見事勝利(6年) ●第13回こどもの国キリンカップ初の低・中・高3部門同時出場 低学年の部優勝(2年)

第19期 平成4年度(1992.4～1993.3) 人見監督・折戸会長

●神奈川県協会正式登録名を“綾南オレンジサッカー団”に変更(登録チーム名は“綾南オレンジ”) ●少女チーム結成 ●第16回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会進出(6年) ●山梨県富士吉田市富士山ジュニアカップ初遠征(6年)

第20期 平成5年度(1993.4～1994.3) 人見監督・伊東会長

●20周年記念誌発刊 ●20周年記念大会開催 ●富士山ジュニアカップ 第6位

第21期 平成6年度(1994.4～1995.3) 人見監督・山口会長

●2学年合同チームで活動する。(5・6年) ●藤沢FC招待にて21期、初の優勝に喜ぶ(6年)

第22期 平成7年度(1995.4～1996.3) 人見監督・渡井会長

●大和綾瀬大会 準優勝 ●綾瀬市リーグ大会 優勝 ●郡市大会出場 ●県央大会出場 ●綾瀬市市制記念大会 準優勝

第23期 平成8年度(1996.4～1997.3) 人見監督・高崎会長

●人見監督綾南小より綾西小へ転任 ●練習日が火水木日曜日に変更 ●大和綾瀬大会 準優勝 ●郡市対抗出場*市リーグ優勝 ●県央大会出場

第24期 平成9年度(1997.4～1998.3) 人見監督・新倉会長

●保護者OB協力の会 綾南アシスト発足。●入谷ホワイト杯 初優勝 ●GP合同合宿への初参加 ●FC原招待横浜マリノスを破り3位 ●神谷コーチ還暦のお祝い

第25期 平成10年度(1998.4～1999.3) 人見監督・伊藤会長

●綾南25周年記念大会開催●第22回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会出場(6年) ●富士山カップ1位パート進出(総合7位)(6年)

女子第7期 1998.4～1999.3 人見監督・佐々木会長

●清水第八招待試合 優勝 ●神奈川県大会 優勝 ●山中湖フィスティバル優勝 ●厚木基地杯 優勝

第26期 平成11年度(1999.4～2000.3) 人見監督・柳沼会長

●第21回子供の国キリンカップ出場 ●郡市対抗大会出場 ●全日本フットサル神奈川県大会 準優勝 ●県央大会出場 準優勝 ●4年県央大会出場 3位 ●4年綾南ジュニア招待 準優勝 ●県選手権中央大会 6年・4年共に出場

第27期 平成12年度(2000.4～2001.3) 人見監督・村上会長

●綾瀬市招待3位●市内お別れサッカー 優勝 ●富士山カップ1位パート進出 ●全日本少年サッカー大会ブロック決勝進出

第28期 平成13年度(2001.4～2002.3) 人見監督・五十嵐会長

●第26回神奈川県少年サッカー選手権大会中央大会出場(4年) ●富士山ジュニアカップサッカー2位パート優勝(6年) ●第23回こどもの国キリンカップ大会高学年の部3位(6年) ●波崎ニューイヤージュニアフェスティバル初遠征(6年)

第29期 平成14年度(2002.4～2003.3) 人見監督・平尾会長

●全日本神奈川県予選ブロック3回戦 ●富士吉田市富士山ジュニアカップ(オレンジ第9位・ホワイト第43位) ●郡市対抗ベスト8 ●こどもの国キリンカップ 第3位 ●県央大会 準優勝(6年) ●波崎ニューイヤージャレンジカップU-12 準優勝 ●神奈川県選手権 中央大会進出

■男子名簿

第1期生 ('74)		
No.	氏 名	
1	牧 内 満	
2	新 倉 博	
3	新 倉 博 史	
4	赤 井 克 光	
5	原 田 正 美	
6	細 谷 浩 司	
7	住 吉 淳	
8	赤 堀 圭 志	
9	佐久間 理一	
10	島 林 直 樹	
11	福 元 茂 樹	
12	前 田 淳 二	
13	武 藤 敏 夫	
14	金 田 高 幸	
15	田 中 豊	
16	佐 藤 裕 之	
17	佐 藤 昭 二	
18	西 城 敏 明	
19	木 田 修	
20	上 村 浩	
21	新 倉 秀 男	
22	有 竹 達 也	
23	林 健	
24	井 出 康 則	
25	奥 山 正 勝	
26	清 水 則 之	

第2期生 ('75)		
No.	氏 名	
1	阿 部 輝 明	
2	村 井 富 寛	
3	武 居 崇 浩	
4	岩 崎 祐 司	
5	福 島 齊	
6	宝 槻 光 二	
7	北 園 直 弘	
8	本 郷 達 也	

9	坂 内 明 治
10	河 野 浩 徳
11	角 田 智 明
12	内 田 英 男
13	飛鳥川 直郎
14	森 川 恭 司

第3期生 ('76)		
No.	氏 名	
1	三 澤 達 哉	
2	二木 喜代徳	
3	山 田 尚 彦	
4	滝 浪 康 則	
5	三 留 郁 太 郎	
6	川 出 聡	
7	細 谷 勇	
8	佐久間 多州夫	
9	島 崎 信 治	
10	小 野 隆 生	
11	野 田 研 二	
12	村 上 信 幸	
13	大 貫 俊 一	

第4期生 ('77)		
No.	氏 名	
1	住 吉 尚	
2	青 木 研 一	
3	武 居 康 二	
4	小 沢 純 一	
5	榊 幸 治	
6	西 岡 健 治	
7	北 園 智 和	
8	本 郷 賢 治	
9	室 井 貴 広	
10	福 島 伸 一 郎	
11	飛鳥川 典郎	
12	富 岡 英 明	
13	小 林 勝 美	

第5期生 ('78)		
No.	氏 名	
1	石 渡 寛 幸	
2	門 馬 正 宏	
3	小 野 寺 健	
4	徳 永 篤 郎	
5	榊 原 康 正	
6	梅 田 一 行	
7	小 菅 智	
8	斉 藤 豊	
9	盛 本 樹 義	
10	中 尾 隆 英	
11	橋 本 太 一	
12	福 本 康 人	
13	山 中 正 治	

第6期生 ('79)		
No.	氏 名	
1	住 吉 啓 介	
2	中 尾 隆 徳	
3	室 井 雅 宏	
4	浅 沼 信 幸	
5	野 田 高 之	
6	鈴 木 敦	
7	下 嶋 勉	
8	佐 川 智 英	
9	中 川 健 治	
10	小 菅 隆 行	
11	命 長 鉄 弥	
12	須 藤 弘 文	
13	鈴 木 哲 也	
14	玉 田 雄 三	
15	清 水 岳	
16	坂 本 孝 次	
17	剣 持 浩	
18	沖 本 喜 彦	
19	比 留 川 正 策	

第7期生 ('80)		
No.	氏 名	
1	飯 塚 洋 一	
2	岡 田 俊 彦	
3	清 水 廣 海	
4	菅 原 浩	
5	山 之 口 淳	
6	渡 辺 直 樹	
7	小 野 謙 一	
8	小 林 正 義	

第8期生 ('81)		
No.	氏 名	
1	上 村 淳 一	
2	岡 村 享	
3	神 谷 則 路	
4	川 原 哲 郎	
5	佐 藤 博 行	
6	佐久間 正志	
7	清 水 貞 一	
8	塚 田 大 輔	
9	中 尾 浩	
10	根 本 秀 幸	
11	平 野 達 也	
12	細 谷 健 一 郎	
13	堀 口 晴 男	
14	峰 尾 一 也	
15	村 中 勉	
16	渡 辺 直 澄	
17	河 野 幹 男	

第9期生 ('82)		
No.	氏 名	
1	安 藤 聡	
2	石 黒 貴 紀	
3	板 垣 隆	
4	井 原 憲 明	
5	栗 田 祥 男	
6	定 岡 慎 二	

7	齊 藤 英 雄
8	城 島 敦
9	鈴 木 博 一
10	高 松 誠
11	東 田 論
12	野 渡 弘 幸
13	藤 田 英 治
14	遠 藤 健 司
15	徳 永 貴 弘
16	北 原 吾 希
17	内 山 大 作
18	田 中 照 泰
19	徳 永 繁 郎

第 10 期生 ('83)

No.	氏 名
1	池 田 義 夫
2	糸 川 哲 也
3	岡 村 康 二
4	小 菅 直 行
5	佐 藤 仁
6	杉 野 悦 郎
7	鈴 木 祐 司
8	竹 島 和 宏
9	馬 場 賢 志
10	深 和 裕 二
11	二 羽 真 人
12	三 井 直 樹
13	盛 本 和 勸
14	八 塚 毅
15	依 田 幸 仁
16	渡 辺 淳 矢
17	小 池 裕

第 11 期生 ('84)

No.	氏 名
1	建 石 直 也
2	堀 口 淳 二
3	伊 藤 勝 敏

4	吉 田 貴 典
5	原 田 聡
6	堀 内 暁
7	寺 沢 誠 一
8	首 藤 広 樹
9	佐 野 史 郎
10	杉 沢 昌 明
11	小 松 圭 一
12	野 渡 茂 生
13	加 藤 崇
14	曾 根 正
15	市 橋 憲 悟
16	関 山 雅 史
17	北 原 祥 二 郎
18	富 樫 洋 一
19	清 水 優 輔
20	根 本 剛
21	川 嶋 茂 樹

第 12 期生 ('85)

No.	氏 名
1	青 木 雅 史
2	朝 熊 努
3	浅 田 雅 也
4	阿 部 清 隆
5	阿 部 匠
6	石 井 武 士
7	井 原 康 英
8	大 西 雅 樹
9	大 野 起 生
10	鎌 田 光 司
11	栗 田 泰 男
12	今 野 雅 夫
13	齊 藤 学
14	酒 井 国 彦
15	藤 田 昌 樹
16	渋谷 昌 孝
17	菅 原 崇
18	鈴 木 広 行

19	田 中 康 弘
20	田 辺 剛
21	歳 川 竜 也
22	新 倉 英 男
23	野 沢 真 也
24	藤 武 政 行
25	牧 口 豪 樹
26	鷺 尾 忠 之

第 13 期生 ('86)

No.	氏 名
1	山 田 亮
2	岩 田 壮 一 郎
3	小 松 康 二
4	森 祐 二
5	原 田 昇
6	佐 伯 健
7	今 里 裕
8	土 持 知 就
9	大 貫 聖
10	仁 田 智 規
11	湖 山 和 臣
12	平 田 信 明
13	佐 野 昌 由
14	大 野 僚 太 郎
15	佐 藤 敦
16	小 野 貴 広
17	岡 村 好 幸
18	伊 東 隆 一
19	金 野 健 一
20	久 根 口 徹
21	田 中 宰 洋
22	船 津 信 武
23	稲 葉 雅 哉
24	小 川 洋

第 14 期生 ('87)

No.	氏 名
1	秋 山 淳 一

2	阿 部 貢
3	天 野 雄 一
4	今 井 慶 信
5	伊 能 啓 太
6	上 村 竜 次
7	岡 田 憲 二
8	小 野 翼
9	尾 上 誠
10	加 々 美 篤
11	金 子 剛
12	金 子 学
13	神 山 厚
14	楠 純 一
15	河 野 志 行
16	小 須 田 進 一
17	進 藤 孝 一
18	杉 本 康 弘
19	鈴 木 秀 和
20	高 坂 祐 司
21	高 橋 芳 紀
22	竹 島 大 介
23	沼 澤 宏 之
24	肥 後 正 道
25	三 好 涉
26	山 本 邦 彦

第 15 期生 ('88)

No.	氏 名
1	田 辺 慎
2	畑 中 竜 太
3	仁 田 亨
4	肥 後 尊 司
5	工 藤 英 明
6	沼 田 宗 一 郎
7	伊 藤 智 宏
8	渋谷 隆
9	鈴 木 光 太 郎
10	桂 田 泰 成
11	大 槻 剛 敏

12	古 川 賢
13	鈴 木 功
14	中 村 誠
15	根 本 俊
16	高 村 将 名
17	佐 藤 洋

第 16 期生 ('89)	
No.	氏 名
1	朝 熊 勝
2	福 地 隆 一 郎
3	小 谷 昌 隆
4	阿 部 健
5	南 良 和
6	三 島 史 之
7	氏 家 孝 二
8	柏 木 佑 介
9	平 田 淳
10	山 下 信 行
11	松 永 広 行
12	坂 口 勝 幸
13	菅 原 聡
14	井 出 清 範
15	新 倉 誠
16	高 平 友 也
17	遠 藤 浩 之
18	岡 本 隆
19	小 玉 孝 史
20	徳 田 史 郎
21	黒 岩 勇 太
22	山 下 聖
23	藤 田 亨
24	広 田 俊 樹

第 17 期生 ('90)	
No.	氏 名
1	坂 爪 誠 一 郎
2	渡 井 隆
3	佐 藤 伸 行

4	田 中 良 輔
5	助 川 学
6	川 内 誠
7	岩 渕 淳
8	橋 口 俊 夫
9	一 の 瀬 康 浩
10	黒 坂 有
11	金 子 隆
12	山 本 聡 彦
13	金 子 大 輔
14	安 藤 靖
15	ス ン ・ ヒ ン
16	松 田 博 樹
17	島 田 貴 之
18	阿 部 英 和
19	伊 藤 寛 志
20	古 屋 大 陽
21	黒 岩 和 人

第 18 期生 ('91)	
No.	氏 名
1	折 戸 喜 孝
2	山 本 健
3	中 村 豊
4	湖 山 邦 彦
5	高 橋 健 斗
6	渡 辺 拓 郎
7	村 松 佑 哉
8	原 田 武 宏
9	中 野 正 人
10	鈴 木 直 之
11	藤 本 義 行
12	貝 津 大 希
13	長 田 祐 一
14	阿 部 聡
15	阿 部 信
16	棚 谷 紀 章
17	鈴 木 正 美

第 19 期生 ('92)	
No.	氏 名
1	渡 井 直 樹
2	佐 々 木 吟
3	篠 辺 薫
4	助 川 慎
5	阿 部 学
6	峰 尾 亮 平
7	小 林 知 弘
8	折 戸 拓 馬
9	村 松 英 二
10	石 井 健 二
11	荒 川 幸 弘
12	竹 仲 良 太
13	鹿 嶋 孝 太
14	伊 藤 寿 志
15	浅 田 安 則
16	村 川 佳 人
17	東 谷 武 司
18	原 佳 史
19	小 野 俊 彰
20	伊 藤 大 輔
21	一 ノ 瀬 篤 史
22	清 水 亮 太

第 20 期生 ('93)	
No.	氏 名
1	青 木 俊 和
2	石 坂 慎 二
3	伊 東 淳 一 郎
4	大 野 操 志
5	尾 鼻 健 一
6	黒 坂 真
7	金 野 拓 也
8	佐 々 木 喬
9	佐 々 木 亮
10	白 井 秋 策
11	田 中 聡
12	肥 後 智 行

13	三 島 弘 之
14	山 下 英 治
15	若 月 正 和
16	渡 辺 剛

第 21 期生 ('94)	
No.	氏 名
1	小 笠 原 裕 樹
2	佐 々 木 信
3	鈴 木 康 司
4	松 山 大 樹
5	山 口 哲 也
6	丸 山 雄 亮
7	馬 籠 裕 之

第 22 期生 ('95)	
No.	氏 名
1	福 地 隆 治
2	塚 田 和 樹
3	藤 本 明 人
4	奥 津 聡
5	村 松 領
6	中 村 雄 太
7	野 崎 拓 也
8	村 川 賢 宏
9	亀 井 慎 也
10	岩 本 義 一
11	渡 辺 俊 介
12	廣 瀬 祐 介
13	黒 坂 健
14	戸 沢 雄 一 郎
15	金 野 朋 晃
16	渡 井 康 介
17	武 藤 敬 宏
18	阿 部 真 悟
19	橋 口 亮
20	重 藤 真
21	永 友 司
22	松 山 隼

23	仲 野 恭 平
24	青 山 順 一
25	高 橋 健 吾
26	河 合 步
27	坂 本 直 樹

第 23 期生 ('96)

No.	氏 名
1	青 木 祐 介
2	一ノ瀬 大輔
3	伊 藤 祐 介
4	亀 井 和 寛
5	篠 辺 潔
6	高 崎 慎
7	葉 月 光 徳
8	丸 山 浩 平
9	森 下 昌 寛
10	柳 沼 博 明
11	山 口 洋 佑
12	和 田 望

第 24 期生 ('97)

No.	氏 名
1	松 島 勇 一 郎
2	滝 口 智 紘
3	岩 橋 靖 典
4	大 畑 亮
5	小 瀧 浩 明
6	斉 藤 義 一
7	鈴 木 翔 太
8	新 倉 悠 太
9	長 谷 部 勇 輝
10	松 橋 涉
11	宮 沢 貴 志

第 25 期生 ('98)

No.	氏 名
1	川 下 雅 人
2	土 屋 祐 太

3	阿 部 裕 紀
4	田 中 秀 樹
5	瀬 筒 恒 平
6	伊 藤 拓 郎

第 26 期生 ('99)

No.	氏 名
1	荒 井 保
2	荒 井 真
3	一 宮 智 之
4	今 野 達 郎
5	常 盤 聡 志
6	富 澤 克 磨
7	仲 本 亮 介
8	西 崎 圭 介
9	長 谷 川 博 一
10	葉 月 光 明
11	平 尾 聡 輝
12	目 黒 尚 浩
13	柳 沼 直 樹
14	安 田 龍 太
15	山 口 亮 祐
16	和 田 斎

第 27 期生 ('00)

No.	氏 名
1	古 市 俊 樹
2	川 添 悟 史
3	長 友 慶 介
4	榎 本 真 也
5	村 上 良 太
6	服 部 和 樹
7	遠 藤 諒 太
8	奥 田 智 秋
9	松 島 敬
10	目 黒 健 太 郎
11	八 鍬 隼 輝
12	川 井 和 義

第 28 期生 ('01)

No.	氏 名
1	中 川 佳 祐
2	星 野 義 之
3	小 林 雅 也
4	高 橋 卓
5	永 石 麗 斗
6	佐 藤 継 宣
7	田 中 洸 平
8	山 口 俊 紀
9	大 矢 勇 樹
10	杉 沢 悠 登
11	鈴 木 晃 裕
12	清 野 優
13	五 十 嵐 慧

第 29 期生 ('02)

No.	氏 名
1	相 馬 大 介
2	安 田 翔 吾
3	大 橋 港 太 郎
4	新 田 拓 馬
5	藤 井 秀 幸
6	五味 田 雄 次
7	山 中 浩 平
8	石 川 和
9	佐 々 木 直 人
10	奥 田 敬 彦
11	青 木 崇 英
12	清 水 駿
13	竹 元 貴 彦
14	勢 巒 広 雄
15	山 口 直 登
16	三 次 和 水
17	曾 根 恵 太 郎
18	平 尾 泰 輝

■女子名簿（1期～7期）

No.	氏 名
1	坂 爪 真 紀 子
2	岩 本 真 耶
3	林 愛 美
4	藺 部 智 子
5	土 谷 若 菜
6	中 村 香 織
7	林 鮎 美
8	佐 伯 綾 子
9	飯 島 美 希
10	池 島 智 子
11	阿 部 美 和 子
12	吉 田 由 佳
13	渡 井 あ か ね
14	山 口 美 香
15	新 倉 良 子
16	早 川 由 里
17	木 内 由 利 子
18	池 田 美 紀
19	渡 辺 恵 美
20	竹 内 亜 利 沙
21	林 優 佳
22	山 口 友 紀
23	新 倉 智 子
24	石 原 智 香
25	新 倉 真 由 美
26	佐 々 木 裕 美
27	渋 井 貴 子
28	小 磯 由 香
29	高 野 里 沙
30	高 橋 絵 里
31	西 崎 由 衣
32	保 田 は る 香
33	佐 々 木 香 織
34	竹 内 美 幸
35	大 矢 千 穂
36	関 根 真 里
37	田 中 英 恵
38	大 矢 真 美

39	佐 藤 良 美
40	中 川 美 緒
41	永 島 百 恵
42	石 原 奈 緒 美
43	塚 田 理 沙
44	佐 々 木 幸 子
45	笹 山 美 沙 子
46	保 田 み な み
47	石 川 海
48	土 屋 文 乃
49	新 田 真 理 乃



■第 30 期メンバー（12 名）

背番号	氏 名
2	山 中 雄 斗
3	村 上 志 織
4	平 野 貴 大
6	菊 澤 和 人
7	中 村 友 泰
8	小 林 純 也
11	勢 〆 惇 史
16	佐 藤 宏 樹
17	峰 尾 直 樹
19	山 出 卓 也
21	清 水 雄
22	赤 羽 拓 弥

■第 30 期のあゆみ

（平成 15 年度）2003.4 ～ 2004.3 人見監督・山中会長

◇ 市内お別れサッカー優勝

◇ 全日本少年サッカー大会 2 回戦

◇ 神奈川県少年サッカー選手権大会 2 回戦



綾南オレンジサッカー団ありがとう

第31期 会長 勢ノ民雄



オレンジサッカー団、創立40周年おめでとうございます。

我が家は子供3人、第29期、30期、31期と綾南オレンジにお世話になりました。



特に子供が6年・5年・4年だった1年間は、週末は練習試合や大会に出かけることが多く忙しい中、親子の会話もサッカー一色になり夕飯時は兄が自慢すれば下の二人も自分の自慢をし、にぎやかな食卓でした。今でも懐かしく思い出されます。そんな我が家ですが、私が一番感謝したいのは、親同士の絆が強くなったことです。綾南招待・ジュニア招待の運営。富士山カップ・波崎への遠征で深夜まで監督、コーチと親が語りあったこと。子供についての親の悩み、教育者としての監督の話、経験者としてのコーチの話どれも貴重な話が聞けました。結局のところ我が子の為と言いながら、自分が一番楽しんでいたのではないのでしょうか。

さらに、人生の楽しみ方を教えて頂いたと思います。それまで仕事人間だった私が子供の卒団後に登山に目覚め、子供達に相手にされなくなった頃から余暇を楽しんでいます。

最後に、綾南オレンジサッカー団永遠に！

綾南オレンジの思い出

第31期生 キャプテン 三好 優平



綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます。



私とサッカーとの出会いは、小学校入学当時グラウンドで楽しそうに練習をしている綾南オレンジの先輩方を見て、自分もサッカーが上手くなりたいと思い1年生の時に入団し6年間お世話になりました。一番の思い出は、6年生の夏の富士山カップの最後の試合のPKです。成人して少し大人になった今、当時の思い出を色々と思い起こしてみると本当に沢山の方のサポートのお陰で自分達がサッカーを楽しく出来たんだと感謝の気持ちでいっぱいです。卒団後も中学、高校、大学の現在でもサッカーを続けていますが、この良き経験を次のステップである社会人になっても生かしていきたいと思っています。有難うございました。

綾南オレンジの思い出

第31期生 保田 昌汰



綾南オレンジサッカー団、創立 40 周年おめでとうございます。私は小学 3 年生の時に入団しましたが、入団した当初は同学年に私を含め 4 人しかおらず当然試合はできませんでした。そのこともあり、1 つ上の学年の試合に帯同させてもらい、また同学年の試合では 1 つ下の学年に帯同してもらい助けてもらっていました。

 そんな緩南の約4年間のなかで学ばせて頂いたことは仲間と一緒にボールを追いかける楽しさと、その中でも苦しいことに耐える忍耐力です。どんなスポーツでも共通して言えることですが、どちらかが勝ち、どちらかが負けるわけです。サッカーをする以上勝ちたいのは当たり前で、勝つためには努力、つまり苦しい練習に耐えなければいけません。そうしたことがサッカーを通じて、また、人見先生やコーチの方々からの厳しくも温かい御指導のもとで身についたと思います。

今、私は大学に通っており今年で4年生になるのですがこれまで小、中、高、大と13年間サッカーを続けています。こうして今でも続けられているのは綾南で培ったものがあるからだと思います。

■第 31 期メンバー（9 名）

背番号	氏 名
10	三 好 優 平
9	今 野 有 花
23	吉 村 優 吾
5	保 田 昌 汰
14	佐々木弘人
15	勢 ㇑ 由 貴
25	平 田 啓
27	松 崎 将 大
28	河 原 義 光

■ 31 期のあゆみ

（平成16年度）2004.4～2005.3 人見監督・勢㇑会長

- 4 月 第 21 回綾南招待開催 31 期団員 9 名にてスタート
- 5 月 綾瀬市内リーグ優勝、5 年生を含めてトップチームとなる、郡市、県央出場
全日本神奈川県予選 1 回戦突破、トップチームとして初の公式戦勝利
- 6 月 キリンカップ市内予選優勝、カップ出場
GP カップ予選優勝、山中湖の本戦出場
- 8 月 富士山カップ参加、監督、コーチと保護者の絆を深める
郡市少年大会出場
- 9 月 キリンカップ出場
- 10 月 県央大会出場
- 1 月 波崎カップ参加
県選手権出場、強豪と当たり 1 回戦敗退するも得点でき収穫がありました
- 2 月 相模野招待優勝
綾瀬市市内お別れサッカー優勝



■第 32 期メンバー（11 名）

背番号	氏 名
1	山 口 健 太
4	壽 俊 輔
6	竹 元 翔 吾
7	飯 田 涼
11	西 海 諒
12	渡 井 貢
18	渡 邊 悠 斗
19	中 川 雄 哉
20	中 川 賢 斗
21	塩 田 裕 也
22	西仲舛 勇輝

■第 32 期のあゆみ

（平成 17 年度）2005.4 ～ 2006.3 人見監督・飯田会長

- ◇ 3 年 県央大会優勝
- ◇ 4 年 第 30 回神奈川県少年サッカー大会 3 位
- ◇ 5 年 県央大会優勝
- ◇ 6 年 御殿場ジュニアサッカーフェスティバル優勝
- ◇ 6 年 第 32 回神奈川県少年サッカー大会準優勝



毎日ボールを追いかけていた綾南オレンジ時代はとてもいい思い出です。そしてそんな場を作っていたいただいた監督やコーチ、保護者の方々にとても感謝しています。

■第33期メンバー（11名）

背番号	氏 名
10	三 好 渉 太
15	伊 野 翔
28	河 原 泰 平
16	倉 持 茂 樹
25	近 藤 翼
14	佐 藤 雄 大
17	清 水 勝 也
9	東 出 晶 汰
2	利 光 健 太 郎
3	藤 井 輝 正
5	星 野 浩 輝

■第 33 期のあゆみ

(平成 18 年度) 2006.4 ~ 2007.3 人見監督・星野会長

◇ 綾瀬市リーグ 3 位 (5 年)

◇ 波崎グリーンカップ優勝（6年）

◇ 綾瀬市お別れサッカー大会準優勝（6年）



■第 34 期メンバー（12 名）

背番号	氏 名
20	高 野 大 地
8	三 次 空 知
32	杉 沢 真 冴
18	斉 藤 大 夢
11	白 鳥 翔 太
7	赤 羽 友 里
21	森 川 士 音
22	高 橋 晃 大
28	小 塚 凌 太
35	木 村 賢 悟
30	小 島 謙 弥
27	濱 野 匠

■ 34 期のあゆみ

（平成 19 年度）2007.4～2008.3 人見監督・高野会長

◇ 第 31 回全日本少年サッカー大会神奈川県中央大会出場（6 年）

◇ 第 27 回神奈川県チャンピオンシップ大会 ベスト 16（6 年）

◇ 県央大会出場（6 年）



だから、どんなことにもめげずにがんばってください。

■第35期メンバー（3名）

背番号	氏 名
13	本 橋 蓮
15	吉 川 宏 樹
28	新垣ジョシュア

■ 35 期のあゆみ

(平成 20 年度) 2008.4 ~ 2009.3 人見監督・吉川会長

- ◇ 綾南 Jr 招待で 35 期初勝利
- ◇ 綾南招待 3 位
- ◇ 全日本予選で P K 負け、白ユニになる
- ◇ 8 月 綾南フェスティバル 綾南公園でお祭り実施
- ◇ 辻堂杯準優勝



今、言ったようなたくさんの経験をした結果、僕は高校に入った今でも楽しくサッカーができています。ありがとうございます。

■ 36 期のあゆみ

◇ 本蓼川多目的広場オープニングセレモニー 9 月 27 日 (6 年)

背番号	氏 名
1	福 田 太 一
2	利 光 開 斗
3	藤 井 昂 平
5	近 藤 颯
8	荒 井 渉
9	藤 井 勇 人
10	仲 本 駿 介
11	金 城 拓 巳
12	島 村 裕 貴
16	金 子 啓 介
17	山 中 琢 留



第 37 期

綾南オレンジに感謝！

第 37 期 会長 高村 亜由美



綾南オレンジサッカー団、創立 40 周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。この長きにわたり子ども達と向き合い、日々ご尽力いただいている、監督、コーチ、OB の皆様、地域の皆様のご協力の賜物と深謝いたします。37 期は女の子 1 人を含む総勢 5 人と人数も少なく、下の学年の協力なくしては成り立たず、また、会長としても未熟な期でしたので、監督はじめ、コーチ、OB、保護者の皆様、下の学年の子ども達、本当に皆様に助けて頂きました。

決して勝てるチームではありませんでしたが、そこから学ぶ事は沢山あった事と思います。そう言う私も、娘に「オレンジに入りたい」と懇願され始まったオレンジ生活ですが、週末には子どもと一緒にグラウンドに出かけ、泣いたり笑ったり、オレンジに入団したからこそかけがえのない時を過ごさせていただきました。時に厳しく、時に楽しく、そんな監督、コーチのもと「仲間の大切さ」「最後までやり切る事の大切さ」など、サッカーを通じて学んだ財産を、これからの人生の糧として頑張りたいと思います。

これからも綾南オレンジサッカー団の益々のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

綾南オレンジで学んだ事

第 37 期生 キャプテン 石井 駿成



僕達 37 期は 5 人でした。少ない人数の中でも、家族やコーチなどに協力してもらい、支えってもらいながらやってきました。監督やコーチには厳しいことなどと言われて辞めたいと思ったことも沢山ありました。弱気な性格だった自分は、上の学年の試合に出れば思い切ったプレーも出来ず、何かあれば泣いているような弱い性格でした。でも、一つ一つ学年が上がるごとに、また、自分達の試合では自分がチームを引っ張る！と思い、試合中に声を出したりしているうちに、少しずつ弱気な性格も直ってきました。

僕はオレンジでやってきたことで心身ともに成長することが出来ました。今でも自転車で小学校の横を通った時、グラウンドでオレンジが活動していると練習を見えています。中学生になっても辞めたいことや嫌なこと、沢山ありました。でも、オレンジで学んだ「最後までやり切る事の大切さ」を忘れずに 3 年間やり切りました。オレンジの後輩達もこれから辞めたいと思う時も来るかもしれないし、サッカーも思うようにいなくても、最後までやり切ることに意味があると思うので、最後まで頑張りたいです。

感謝の気持ちを忘れずに

第 37 期生 高村 英里



綾南オレンジサッカー団、創立 40 周年おめでとうございます。

私達 37 期は、人数が 5 人しかいませんでした。なので、いつも下の学年とチームを組んでいました。練習の時も試合の時も常に一緒だった 5 年生は、当時の自分にとっては、一緒に試合にでることが当たり前だと思っていました。でも卒団してから当たり前ではない事に気付きました。当時の 5 年生に感謝しなきゃいけないと思いました。そして、私達が綾南オレンジでサッカーが出来たのは、監督、コーチ、保護者の方々、何よりも仲間のおかげです。

人見監督をはじめ、コーチの方々には挨拶の大切さや礼儀を教わりました。そのことは今もとても役にたっています。いろいろな事を学ばせてもらった綾南オレンジは私の原点です。

これからも綾南オレンジに携わりながら、サッカーを続けていきたいです。皆にもサッカーが出来る環境にいることに感謝しながら頑張りたいです。



■第 37 期メンバー (5 名)

背番号	氏 名
20	石井 駿成
15	井上 颯
7	三原 春陽
1	渡辺 晃太郎
14	高村 英里

《 第37期のあゆみ 》

第 37 期(平成 22 年度)

2010. 4 ~ 2011. 3 人見監督 ・ 高村会長

◇ チャンピオンシップ市内予選 優勝

◇ 辻堂大会 3位



いろいろな事が...



さらなる飛躍を願って



今後も、子供たちが健やかでたくましい心身を育まれるよう、さらなる綾南オレンジサッカー団の飛躍を願っています。

Boa sorte オレンジ !!

■第 38 期メンバー（14 名）

背番号	氏 名
10	清 水 裕 基
18	上 田 将 也
11	渡 部 駿 輝
13	新 倉 健 太
3	細 貝 颯 太
9	石 井 拓 海
19	尾 崎 大 樹
4	鳴 原 遼
8	平 岡 慎
32	齊 藤 輝
99	篠 原 大
6	鷲 尾 智 樹
14	三 浦 太 一
15	小 城 智 也

■ 38 期のあゆみ

（平成 23 年度）2011.4 ～ 2012.3 人見監督・齊藤会長

- ◇ GP フェスティバル 1 位パート
- ◇ 横須賀市招待 2 位パート 2 位
- ◇ だいだいカップ優勝
- ◇ 平塚市招待準優勝
- ◇ FC32 フェスティバル準優勝
- ◇ SAM カップ準優勝
- ◇ 星が丘招待 3 位



■第 39 期メンバー（8 名）

背番号	氏 名
18	栗田雄斗
27	吉澤蓮麻
33	吉川智輝
22	宮治 楓
24	清水 颯
25	梅澤 怜
28	細谷修大
17	村松 凜

■ 39 期のあゆみ

（平成 24 年度）2012.4～2013.3 人見監督・吉川会長

- ◇初めての試合 2 年早園招待で GP と合同チーム準優勝
- ◇4 年チャンピオンシップ SCH に 0-1 の惜敗ベスト 16
- ◇5 年フェニックス招待優勝
- ◇市内新人戦優勝
- ◇チビリンピック県大会出場
- ◇平塚招待 4 位



感謝の気持ちと絆を大切に

第40期 会長 伊能 啓太



この度は、綾南オレンジ 40 周年誠におめでとうございます。監督、コーチ、OB、アシスト、全ての方々に心から感謝申し上げます。私は 26 年前に綾南を卒団し、26 年経ち…今度は親として関わる事となりました。当時は勿論分からなかった親の気持ち、苦勞、大変さを、まさか私も経験する事になるとは考えてもおりませんでした。

我が子の為にやるのは当たり前ですが、そうではない監督、コーチにはただただ感謝致します。

子供達は、相手を思い遣る気持ち、仲間の大切さ、努力する事、そして監督、コーチ、親への感謝の気持ちをこの綾南で学んだ事でしょう。その財産はこれからの人生で必ず役に立つ筈です。

また、親同士もこの歳で年齢も職業も違う友達が出来た事は、一つの財産と言えます（言いたいことの言える良い関係です!）。子供と深く関わる事が出来るのも小学生のうちだけ、諸先輩方から教えていただき、自身の記憶を辿っても確かにその通りだったと思います。子供のプレーに沢山の感動を貰う事が出来たのも、子供と一緒に真摯に向き合ったからこそと思います。少子化の中、地域のサッカー団として、次の 10 年、綾南の歴史は半世紀へ向け、まだまだ発展し続けて行く事を、心よりお祈り申し上げます。

僕と綾南オレンジ

40 期生 キャプテン 9 藤井 海人



僕は、綾南オレンジで1年生からキャプテンをさせてもらいチームをまとめてきました。試合で最初に行う円陣やどういう戦いをするのか・・・などみんなで話し合い協力し合って試合にのぞみました。この6年間、綾南オレンジのみんなと一丸となり、楽しかったこと、辛かったことを経験できて幸せでした。もう少しで綾南オレンジのユニフォームが着られなくなると思うとすごく悲しいですが、ここで教わった事、経験した事を忘れず、これからもサッカーを続けていきたいと思ひます。綾南オレンジ ありがとうございます。



40 期生 3 伊能 帆啓



綾南オレンジに入って一番うれしかったことは、試合です。練習は、大変つらいけど自分のためになります。試合でも練習したことがやくになつて、試合にも勝つことができます。試合に勝ったときが一番楽しくてうれしいから練習を頑張つてよかったと思ひます。これからもサッカーを続けたいです。



40 期生 1 秋津 亮



僕は、2年生で入団してDFをしていましたが、3年生のグロアアップリーグの時にキーパーをやったらすごくおもしろく楽しかったです。神谷コーチと高野コーチにキーパーを教わつてつらい時もありましたが、今はキーパーが大好きになりました。僕をキーパーに目覚めさせてくれたのが綾南オレンジです。



40 期生 8 金子 春斗



僕は小学2年ぐらひの時に綾南オレンジに入りました。6年の綾南招待で決勝戦まで行き原FCと戦ひ6年生と5年生が心をつにしてチーム一丸となつて戦ひましたが、負けてしまいました。でもこれをバネにして最後の合宿で1位をとりました。僕の将来の夢は長友選手のように活躍できる、世界で誇れる選手になりたいです。



40 期生 2 星野 光輝



僕は、2年生で綾南オレンジに入りました！入った時は全然上手くないし、体も弱かったけど、続けていくうちに上達し、体も強くなったと思ひます。沢山の試合で、みんなで協力して戦つて、嬉しいこともつらいこともありましたが、いい経験でした。綾南オレンジは僕のサッカー人生のきっかけでもあります！だから、この綾南オレンジでの思い出は一生忘れません。これからも1日1日を大切に、将来も頑張りたいです。

40 期生 11 長谷部 陸雄



僕は、綾南オレンジに1年から入団しました。そろそろ卒団だと思つと「もうか...」と思つくらい過ぎるのが早かったです。仲間と一緒に試合や練習ができて happy memory!

40 期生 19 鎌田 海音



僕と綾南オレンジは、綾南オレンジがなきゃ、いい仲間とサッカーの楽しさもわからなかったと思う。けんかもあったりしたけど、それでも綾南オレンジは最高！サッカーと綾南オレンジを通じていい仲間に出会えた事に感謝。



40 期生 14 岩田 翔大



僕がオレンジに入ったのは、試合で高野コーチに褒められてとても嬉しかったからです。試合にはあまり出られませんでした。6年でのヘディングで決めたゴールは嬉しかったです。みんなとサッカーをやって来て良かったです。



40 期生 副キャプテン 21 小島 岳留



僕は、綾南オレンジに入って、あいさつなどの礼儀やサッカーの楽しさ、悔しさ、仲間の大切さを知りました。サッカーを通じて友達もたくさんできました。これから中学生になっても周りの人に感謝し、もっともっと上を目指して練習していきたいです。監督、コーチ、お父さんお母さんのみなさんありがとうございました。



40 期生 5 小林 優斗



僕が綾南オレンジに入ったのは、4年生のときでした。そのときは、早く試合に出たいなと思いました。僕が2年やって一番心に残っている試合は4年生の綾南招待でした。初めて点をとって本当にうれしかったし、あのゴールは、忘れられません。2年だけだったけどチームのみんな、コーチ、監督、家族ありがとうございました。



40 期生 10 大木 天翔



6年間、綾南オレンジの40期メンバーと沢山の試合が出来て、僕にとって貴重な時間でした。中学では、キャプテンになれるように人一倍練習したいと思います。支えてくれたお母さんやコーチ、監督、一緒にサッカーをやってきた仲間に感謝の気持ちを忘れずにこれからもサッカーを続けていきます。ありがとうございました。



■第40期メンバー（11名）

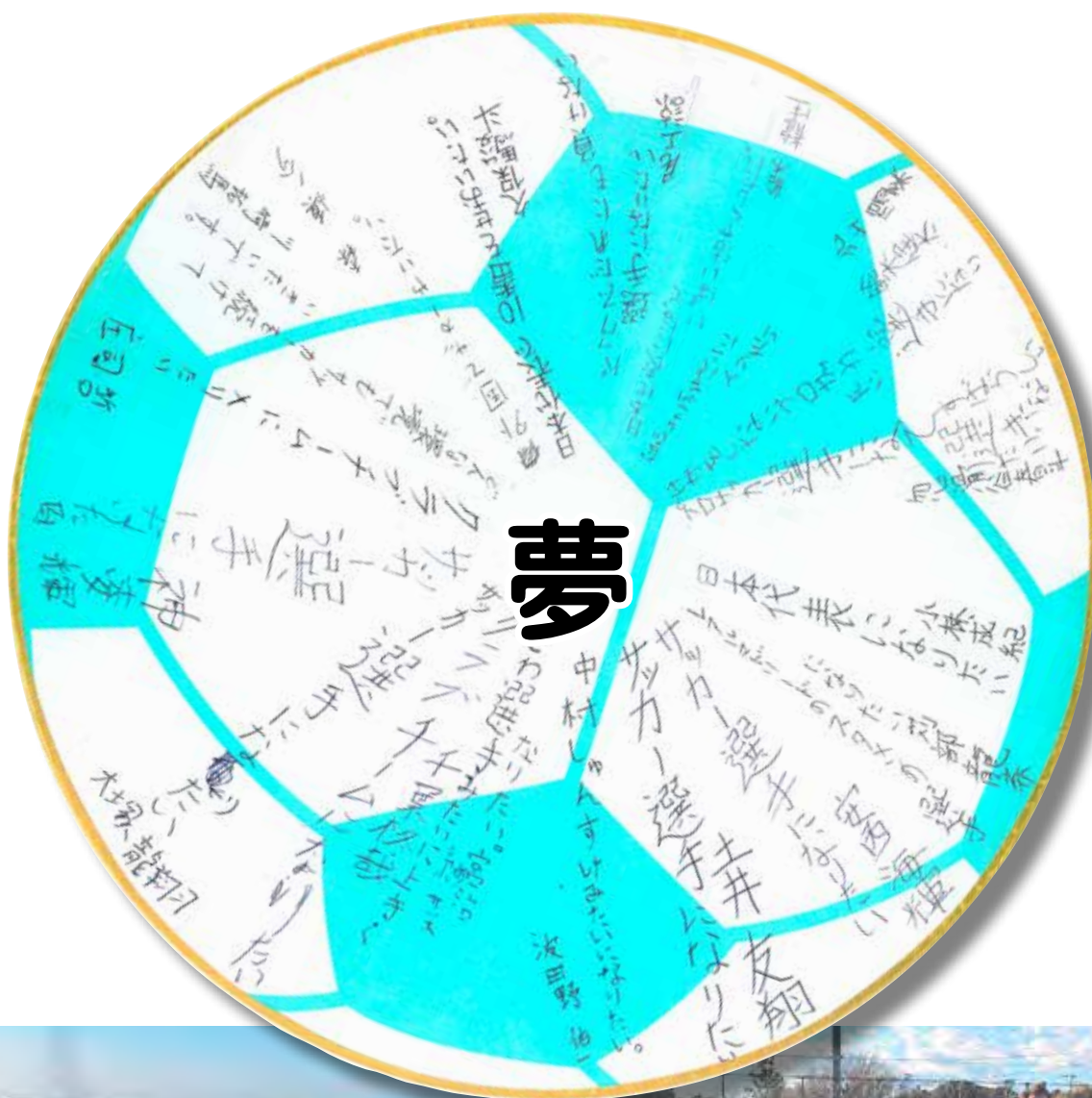
背番号	氏 名
9	藤 井 海 人
21	小 島 岳 留
1	秋 津 亮
10	大 木 天 翔
19	鎌 田 海 音
11	長谷部 陸雄

背番号	氏 名
5	小 林 優 斗
3	伊 能 帆 啓
8	金 子 春 斗
14	岩 田 翔 大
2	星 野 光 輝

■40期のあゆみ

（平成25年度）2013.4～2014.3 人見監督・伊能会長

- ◇ 大和・綾瀬大会優勝（6年）
- ◇ 河口湖合宿優勝（6年）
- ◇ 山中湖合宿準優勝（5年）
- ◇ 山中湖合宿優勝（6年）
- ◇ 市内お別れ大会優勝（6年）







有限会社 鈴保養鶏園

綾瀬市上土棚中 4-10-40

TEL 0467-70-2011

FAX 0467-78-1347

祝 綾南オレンジサッカー団 四十周年

ガソリンスタンド部…石油製品一般、車検、安全点検整備

住宅設備機器部…プロパンガス、配管工事、風呂給湯システム、
冷暖房器具、その他厨房機器販売、取付工事



ENEOS

有限会社 綾南石油

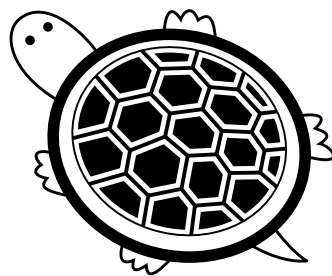
綾瀬市上土棚中 3-4-2

☎ 76-1225 (代)



電話(〇四六七)七八一六二四番

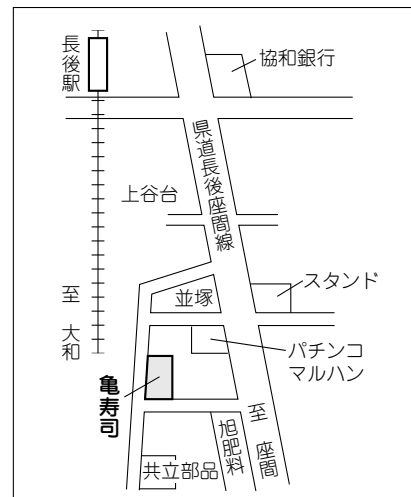
味自慢
江戸前
亀寿司



毎週水曜定休

綾南オレンジ40周年おめでとうございます。
亀寿司も応援しています。

夜9時まで
出前いたします。



スポーツする人を応援しています。

ヘアーサロン

理容 ミヤザワ

TEL&FAX 0467-77-3166

綾瀬市上土棚中6-7-15

<http://www.miya76.com>

スポーツ用品のご用命は



〒424-0808 静岡県静岡市清水区大手2-1-9

TEL 054-366-1603

株式
会社 **ミヤダイ中央社**

〒243-0423 神奈川県海老名市今里 1-11-1

電話 046(231)0928 FAX 046(231)4522

教育機器・理化学機器・図書教材・教示教育用品・文具
・児童用品・視聴覚機器・事務機器・OA 機器・情報機器
・電化製品・環境美化製品・福祉機器・医療機器・記念
品・スポーツ用品・トレーニング機器・施設設備・標章
類・博物館用品・贈答品

教育用品のご用命は!!

株式
会社

厚木教材社

＜取扱品目＞

教育用教材・教具

視聴覚機器

理科学機器・分析用試薬

保育養護用品・事務用品

本店 厚木市林 2-1-39

TEL 046-224-3882 FAX 046-224-1671

綾南オレンジ 40 周年おめでとうございます

有限会社 **池永設備**

県知事許可 25576 号

〒 252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北 3-25-32

県企業庁登録工事店

TEL (0467) 78-5644

市指定下水道工事店

FAX (0467) 78-5643

給排水・衛生・設備工事設計施工

浄化槽・水道施設・土木・舗装

中華・炭火焼・ホルモン

まるよし亭

メニュー150種類以上
新鮮なお刺身も大評判!



- 営業時間 11:00 ~ 14:00 / 17:00 ~ 23:00 (焼肉は 17:00 ~)
- ラストオーダー 22:30 ● 火曜定休

綾瀬市上土棚中 2-17-41 TEL. 0467-77-6505

祝!! 綾南オレンジサッカー団 40 周年

Dining 初亜

美味しいお酒と創作料理のお店

〒 252-1114 綾瀬市上土棚南 4-1-32

TEL. 0467-70-0204

営業時間 : 19:00 ~ 24:00 定休日 : 日曜・祭日

自分だけの

本を作ってみませんか。



自分史 俳句集 記念誌 エッセイ集 絵本

● 一冊からオーダーすることができます！

● 原稿は「データ」でも「手書き」でもOK！



ニチゲンに
おまかせ下さい!!

文章作りが苦手な方でも
専門スタッフが原稿
おこしからご協力させて
いただきます。



株式会社 **ニチゲン**

● 本社 〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北 4-9-20
TEL. 0467 (77) 5153 (代) FAX. 0467 (77) 4799
● 東京営業所 〒140-0004 東京都品川区南品川 1-10-14
TEL. 03 (3471) 3353 (代) FAX. 03 (3471) 3379

■綾南オレンジ 40 周年記念事業実行委員会

代 表：人見 和人

委 員 長：高野 謙一

副委員長：吉川 俊一

会 計：高村 亜由美

委 員：神谷 勲 朝熊 和正 三好 信也 阿部 信介 山中 英二 勢ノ 民生 飯田 利彦

星野 浩作 仲本 充則 斎藤 常博 藤井 ユキ 小島 順子 尾崎 泰一

事 務 局：伊能 啓太

〔編集後記〕

綾南オレンジサッカー団創立 40 周年にあたり、記念事業の一環として記念誌『綾南オレンジサッカー団 40 周年記念誌』が皆様のご協力をいただき、本日、刊行にこぎつけられたことを大変喜ばしく思います。

本集は歴代の指導者、OBの方々の名簿を整理して現団員に紹介し、またOBの方々には近年の綾南オレンジの活躍をお知らせすることで、お互いに親睦を深める糧になれば幸いです。

記念誌の作成に当たりましては多くの卒団生、現団員の活躍など掲載したいものが多く有りましたが、ページの都合上、十分に意を尽くすことが出来なかった部分も有ると思います。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、お忙しい時期にもかかわらず、40 周年記念誌発刊、及び記念行事の実施につきまして協賛していただきました皆様、ご寄稿いただきました方々をはじめ、写真、資料収集など多くの皆様のご理解、ご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

併せまして綾南オレンジサッカー団関係者の皆様の今後の更なる発展とご健勝をお祈り申し上げます。

本当に最後になりますが、昨日、夢でお会いいたしました天国の佐藤コーチからの一言を…

『フレ～！フレ～！綾南！』『フレ～！フレ～！人見！』有難うございました。これからも天国から綾南オレンジを見守って下さい。

合掌

40 周年記念誌部会 阿部 信介

発行者 綾南オレンジサッカー団創立 40 周年記念実行委員会

印刷・製本 株式会社ニチゲン

綾瀬市上土棚北 4-9-20 (TEL) 0467-77-5153

発 行 2014 年 3 月